漫画の手帖 1982年秋号　昭和57年9月15日発行

漫画の手帖

MANTE

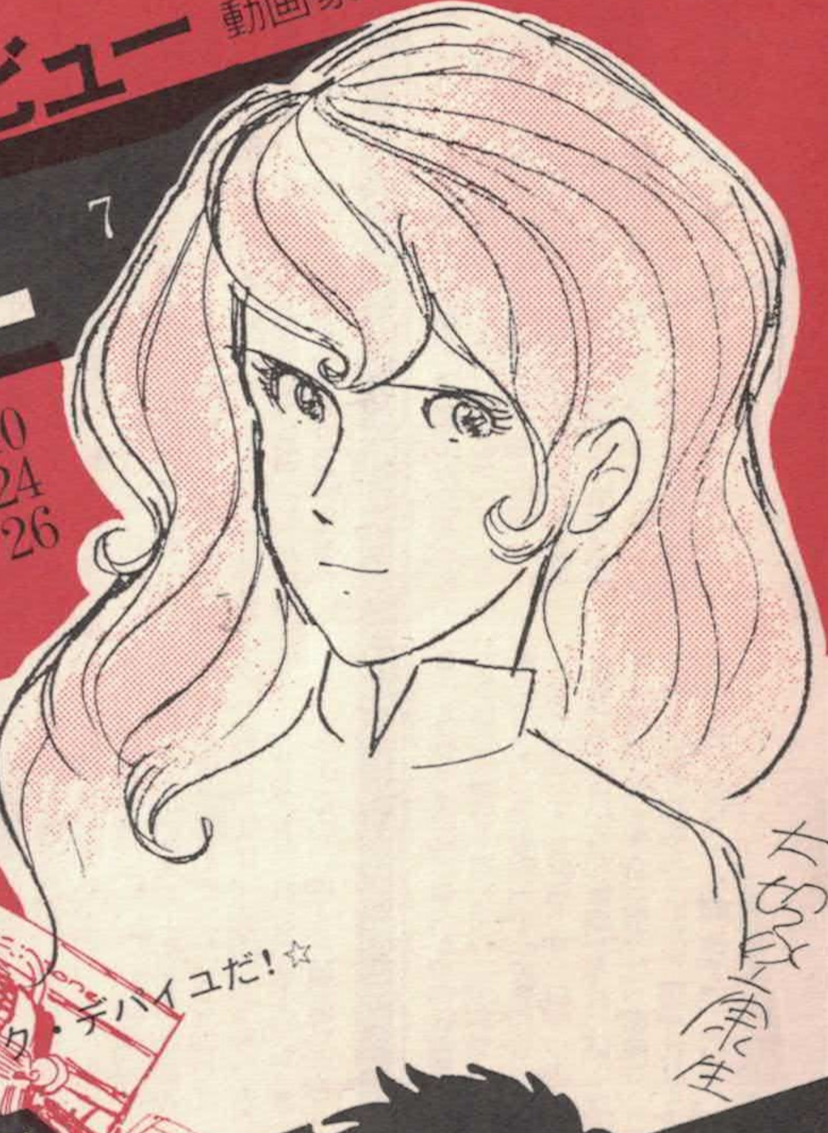


1982 AUTUMN　9号

動画家はブルースをうたう

特集☆インタビュー

大塚康生 7

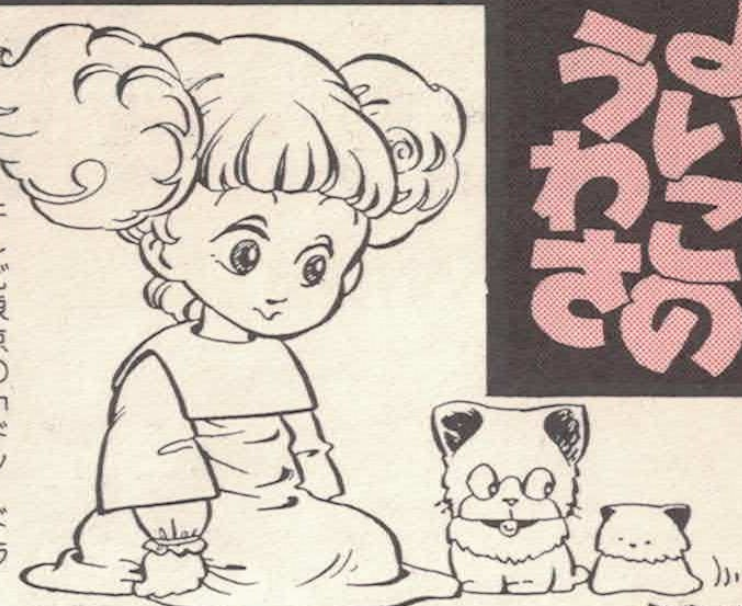






150 YEN

よいこのうわさ



テレビ東京の「ドン・ドラキュラ」がたった4回で打ち切りになった。こんなの誰も見てなかったと思うので、知らないうちに勝手に終ってしまったという所だけど、TVアニメの場合どんなに視聴率が悪くても最低1クール(13回)はやるのに、いわく「営業上、契約上の問題」によって新記録?を打ちたててしまいました。それにしても日本TVのテレソンも、今年から竹宮恵子の「アンドロメダ・ストーリーズ」にかわり、手塚アニメは衰退の一途。それも当然で手塚さんの作るアニメはつまらないからだ。はっきり言ってこの人、基本的にアニメがわかってらっしゃらないんじゃないのかな?「日本のアニメは世界に通用しないからダメだ」なんておっしゃるけど、日本で通用しないもん作って世界で通用するのだろうかね?手塚作品でも、ご本人さえタッチしなければ「ユニコ」とか「トリトン」なんていう傑作も生まれる。早くアニメから手を引いて漫画の方に専念なさったら?手塚さん。

米沢さんも高取さんも、なぜかだーれもやりたがらないマンガ奇天

蛭児神建監修の「ロリコン大全集」(群雄社出版☎(03)二九五ー二〇〇五)がすでに三版とかで売れてるらしー。編集した人が元少女アリス、ペケ編集長の川本耕次さんと元FP(今はフリー)の緒方さん、漫画の手帖も協力してるとか。その中で米沢嘉博さんが、和田慎二さんについて「…ある新人まんが家の男性がアシスタントに行った時に、後ろから忍び寄って××されかけたという話もあるが、きっと悪質なデマだろう」と書いておられたが、そのまんが家とは大泉在住の美形で名高い○○氏だとか、××の後、アシスタントが寄りつかなくなり、相当期間絵が荒れていたとかとの話しもある。あてにはならないが…。

ふゅーじょんぷろだくと(☎(03)三五四ー六三五五)から「創作同人誌ベスト集成'81」PART1につづいてもーじきPART2が出る。こんどは吾妻さんの表紙らしー。内容の方はというと、やや渋い作品に片寄りぎみで、ベスト集成というからにはもっとたのしい作品も読みたいものです。950円。

奇想天外社からギャグマンガ専門誌THE・MANGAが出た。奇天の編集部はすでに消滅してるから当然下請に作らせた本。マンガ奇天の方は米沢さんに依頼するという話もあったが断わられたのかな。

カット・谷口敬

●ロリコン大全集を出した群雄社からこんどは小説と文章中心の「少女体験」が出る。(A5判180頁980円)もちろん蛭児神さんの小説も載る。群雄社では来年米沢嘉博さん監修の戦後マンガ目録も発行予定とのこと。☎(03)二九五ー二〇〇五

●細野不二彦「さすがの猿飛」がついにTVアニメ化!うれしい、うれしい。

●最近テレビ東京は他局の作品をどんどん買いとって再放映するからアニメファンは目が離せない。特に日本テレビから買った「ガンバの冒険」は最高。

●DUO7月号の吉田秋生「嗚呼青春の甲子園」あれは大友克洋「アメリンゴ」のパターン使っただけなんだよね。でも最近の吉田秋生はいい!うん。

●千之ナイフさんの単行本が久保書店から出る。カラー頁も入って800円。

●アニメージュ増刊「中山星香セレクション」はおすすめ品です。日ペンの美子ちゃんBEST集成がうれしい!

●マンテろ号で予告が載った「宮脇心太郎作品集」がやっと出た。問合せは☎(03)九五一ー〇〇一三 川脇まで。

あれこれ情報



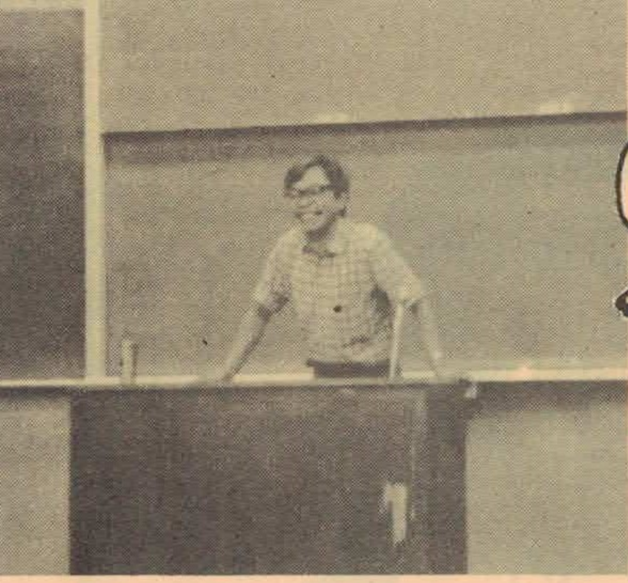
← 千之ナイフ「空中楼閣の魔術師」レモンピープル8月号。アナクロ・ナンセンスギャグがきもちい~

あの『アンジェ本』のメンバーがこんどはミンキーモモ本を作るんだって!?



「ミンキーモモ」(テレビ東京・木曜5時55分)が今、若い男の子達になかなかの人気なのだ。
、すでにF.C.もいくつか結成されて、早くもF.C.連合をつくる話もあるとか。
人気の秘密はもちろんミンキーモモのキャラクターのかわいらしさなんだけど、加えて声の小山茉美さん(アラレちゃんの声とおんなじだ)の魅力、それからアニメ作品としては特にでき良い作品というわけではないにしても、今までのアニメの手法をうまくアレンジして、そつなく作っていて好感が持てる所が、ロリコン男性だけには限らない幅広い人気の秘密(評論家・志水一夫氏談)なのだそーです。
早い段階から「ポピー」が一枚かんでたという話しで、キャラクター商品も売られてるようです。(5月のMGMではミンキーステッキをふりまわしてる男性もいたとの事、こーゆーのはあんまし見たくない…。)
でも、某FCがプロデューサーに、「対象年令は?」と聞いたらズバリ、「大学生です」と言われて二の句が出なかったとか…。
夏のコミケではミンキーモモをネタにした同人誌もひしめくようだが、昨年「アンジェ」を出した千之ナイフさん、亜児神建さんのグループも、超ゴーカ執筆陣のミンキーモモ本を冬のコミケに発行予定とか。(またまたパニックかな)
プティアンジェを忘却のかなたにぶっとばしたミンキーモモブーム、当分おさまりそうにない。





6/1アニ研連上映会に―

宮崎駿さんが来たのです。

学生アニメーションサークルの連合体「アニメーション研究会連合」の第二回上映会が6月1日、早稲田大学キャンパスで行なわれました。
参加サークル紹介、上映会のあと、なんとあの宮崎駿さんの講演があったのです。作品上映は2時にスタート、宮崎さんは3時より演台に立たれて、質疑応答を含め1時間20分もの間、ご自身とアニメとのかかわり、何を描くか等、とつとつと語られました。
その後更に1時間ほどの作品上映会の後閉会。参加団体の会員はセミナーハウスへ移動し、コンピューターアニメ等の講義を受けたそーで上映会のみに終らないところがさすがです。
宮崎さんとの座談会も行なわれ、宮崎さんは参加サークルの作品を一つ一つていねいに批評、特に早大アニ研の「プレゼント」を絶賛されたとか。
それにしても、SF大会やコミケットはあるのに、アニメーションサークルのためのイベントがない今日、この会をゆくゆくは全国規模のアニメーション大会のようなものに発展させたい。(中大・山口氏談)との声も。一般の参加者はまだまだ少ないけど今後の発展が楽しみです。参加希望の学生アニメーションサークル、お問い合わせは、☎(03)四四一-一四〇三武藤二郎(慶応アニ研)ヌは、☎(0425)九二-四七七五松元文一(中大アニ研)まで。

めぞんギガント



吾妻ひでお



★巨匠あじまが描く未来下宿・めぞんギガント❢

★うろたえるなっ！——とさけびつつおしまい。



頭の痛い方は家へ帰って寝て下さい

SF対談・風雲編

F. ところで吾妻さんのお宅に原稿とりにいったんでしょ。どーでした？

S. 夜中車で行ったら迷いに迷って…人通りはないし道は暗いし…。

F. 練馬って23区内の秘境なんだよね。

S. でも、美しい奥様にケーキとコーヒーいれていただいて！感激でした。あっ、Fさんも早く奥さんもらったら？

F. ぼくにはかわゆいミホちゃんがいるからいいも～ん。あれ、そーいえば今回からロリコンライブラリー廃止なんですか。

S. 週刊朝日にロリコンミニコミと書かれてショックを受けましたから。その上、発行人がロリコン大全集なんて本手伝うから増々いけない。なんとかロリコンのレッテルをはがさないと…。

F. なるほど！今、正常な愛に見覚めて一。という訳ですね。じゃあこれからはSMでいきましょうか？

S. ま、勝手に一人SMでもやってて下さい。人様にメーワクかけないようにね。

F. うん。

次号予告　10号は11月頃発行

★えー、宮崎駿さんの特集なのです。マンテスタッフは、高橋葉介さんをおさそいして、いざ、インタビューへ！どんなお話しがとびだしますやら……

★特集★インタビュー　**宮崎駿**

高橋葉介
出渕裕
吾妻ひでお
千之ナイフ
さえぐさじゅん



カット・さえぐさじゅん

特集

大塚康生インタビュー





純情すぎる女性は、描きにくくてね。

——今日は、いろいろとお話しを、うかがいたいんですが……。

大塚　そうね。でも、あんまりバカバカしいことは聞かないでね。アニメファンは、単なるファンであって、プロのアニメーターとして、アドバイスしてあげられるわけでもないしね。そういうファンが、ぼくに何を聞きたがってるかも、わかんないしね。

——ハァ（と一同、ミーハーが多いので少々あわてましたが、とにかくインタビュー開始）

——仲間ということについて、よく語っておられますが……。

大塚　そうですね、そりゃ先輩や後輩にかかわらずね、それが一番大事なことだと思ってますよ。

結局ね、アニメーションってのは、絵をかく仕事なんだよね。ぼくはね、止まっている普通の絵がね、動きだすからおもしろいんだと思ってる。動かすというと、一日に何枚かけるかが問題になるよね。

だから、もし、お金も暇もあってね、動かしてもいいとなったら、これは膨大な人間の手間ですよ。例えば、今の作品（シャーロック・ホームズ）は、一万枚の絵だけどね、これを、まあ、どんな天才だろうがね、一日三十枚描けばいいとして、動画をね、ま、描いて一ケ月で900枚でしょ。完成させるのにどのくらいかかると思う？

——（ウウム、めんどくさそう……）

大塚　もう、あきちゃってさ、いやになるよね。（笑）

それにね、ある程度、速行性も大事なんですよね。考えたらすぐに画面になる事が大事でしょ。

マンガ映画の場合は、考えるのは演出家で、それを皆がよってたかって仕上げるんだけど。でも、その多勢の人

間の美意識とかさ、それは違うよね。オレは、美形がいいとかね。でも、つくる時は意志統一せにゃならんわね。そういう意味での組織、そういう意味での団結、そういう意味の人間的な連帯だね。それがぼくは、アニメーションづくりには必要だと思っている。

『198X年』をやれといわれてもね

大塚　そういう連帯づくりには、企画も関係あるんじゃないかな。例えば、会社に行って突然「198X年」をやれといわれても、ぼくは、やっぱり、やめると思うね。

――あれは随分もめてるそうですね。作画の人達も反対なんかして……。

大塚　だから、それは、企画もあるし、（スタッフの間の）アンサンブルにも（問題が）あるんでしょう。だけど、基本的には、どうつくりたいかじゃなくてね、まあ（つくり手と企画の）ものさしが違うんでしょうね。

――どうしても合わないと、会社を選ぶとか……。

大塚　うん、そうでもないですけどねェ。やっぱり嫌な人とでもやらなきゃいけない時がある。仕事ですから。なに、3ケ月か、4ケ月だからビジネスライクにやってしまおうという時もありますよ。高畑さんや、宮崎さんは、それやらないけどね。

――そういう時、嫌になりませんか？

大塚　う――ん。それは、作品に自分の趣味をだしたりして抵抗しますからね。ただ、ある程度、演出には同調しますからね。

――では、チームワークという点でも、いい演出家の下につきたいとか？

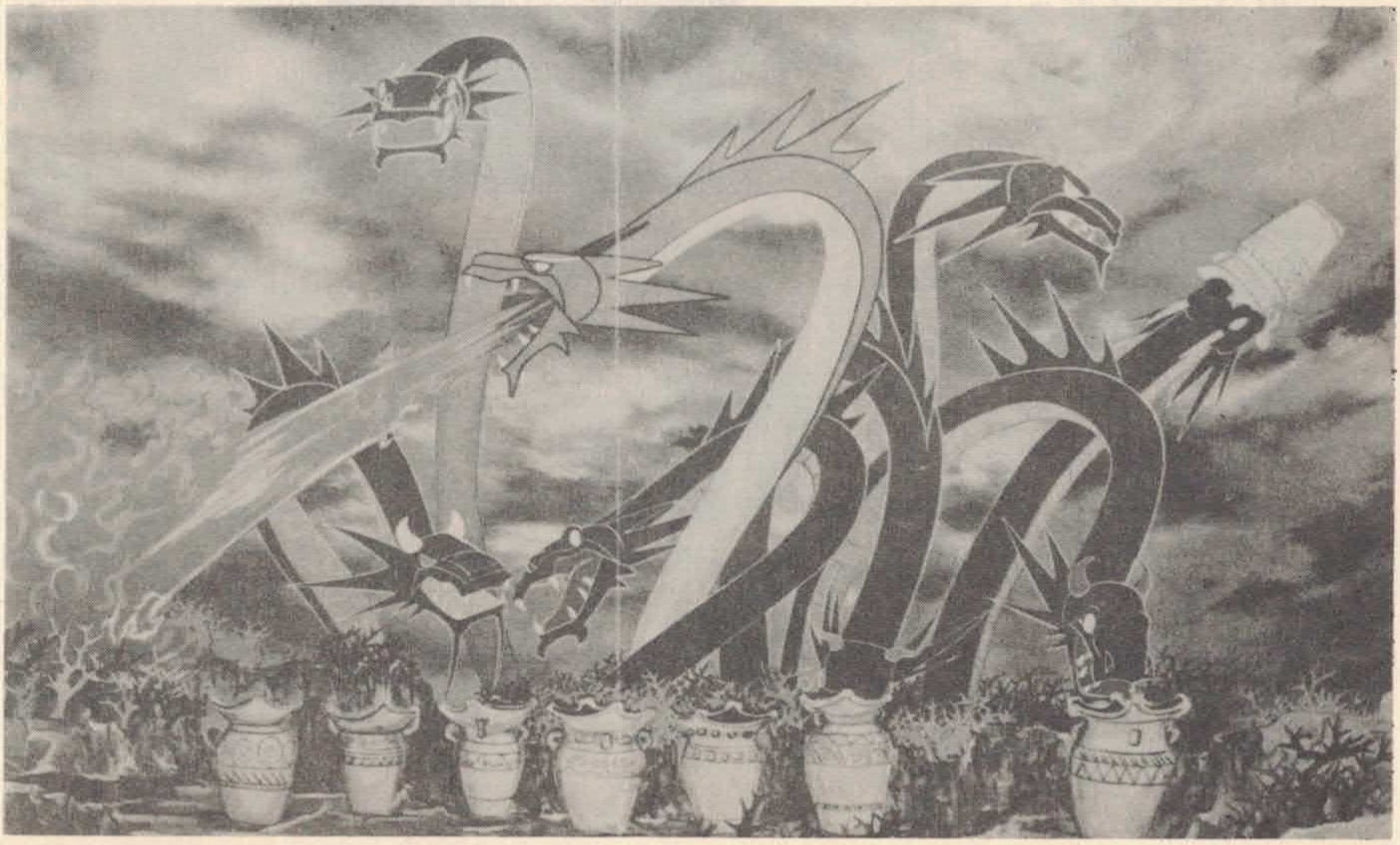
大塚　それじゃ、演出が上みたいでしょ。そうじゃなくてね、下につくとか上につくとかじゃなくて、横にならんでね、一緒にやっていきたいという考えでね。

動画なんかが、なまじ、意見を出すと、「オレが一番偉いんだ、オレのいうことをきけ！」なんて演出家じゃね、通用しないですよ。原画は動画より偉くて、動画は仕上げより偉いなんてことになると、いいマンガ映画はできないでしょうね。

演出は、押しつけじゃなくて、説得力がないとね。自分の考えていることを説得する力がなければ……。

ただ、いい考えを持っている者がいれば、どんなに若い人の意見でも、とり入れなければ。軍隊じゃないんですからね。

――いいことですね。



大塚　けどね、それは、勝負ですからね。考えぬいてね、シナリオがまっ黒になるまでした演出にね、このセリフ、こうじゃないですかっていうのは大変なことですよ。

たいてい言うことといったら、ドジなさ、ろくに考えない事を、自分の趣味に走って言ってますよ。あなた達が想像する以上にね。

何かやる時にね、論理で説明するというのは難かしいですよ。ただね、理屈ばかり言っても仕方がない。そうじゃない部分もあるからね。例えば、高畑さんが「ジャリン子チエ」の時にね、チエが、涙を流すのが嫌だから、まっ暗な画面のなかに、ポツン・ザプーンとね、水滴を一個落としたいって言うんだよね。

いや、ちょっと、陰湿な画面になるんじゃないですか。大丈夫ですかって言ったら、

いやあ、どうしてもやりたい。

電車のとこでね。この時、ちょっと演出の意図が納得できないし、わかんないけど、信頼してみようと思ったの。そして、信頼して、映画になってみたら、ああ、こういうこと考えてたんだなあって、わかるわけ。

チエの気持ちの中に、何か、こう、しっとりしたものが出したかったんだなあって。それで、もう一回、信頼が増せばいいでしょう。

演出との間に、そういう信頼関係ができてしまったらね、もう、ゴチャゴチャ理屈言わなくていいでしょう。おまえに判断はまかせた、オレが描いてやるからってことになっちゃうね。

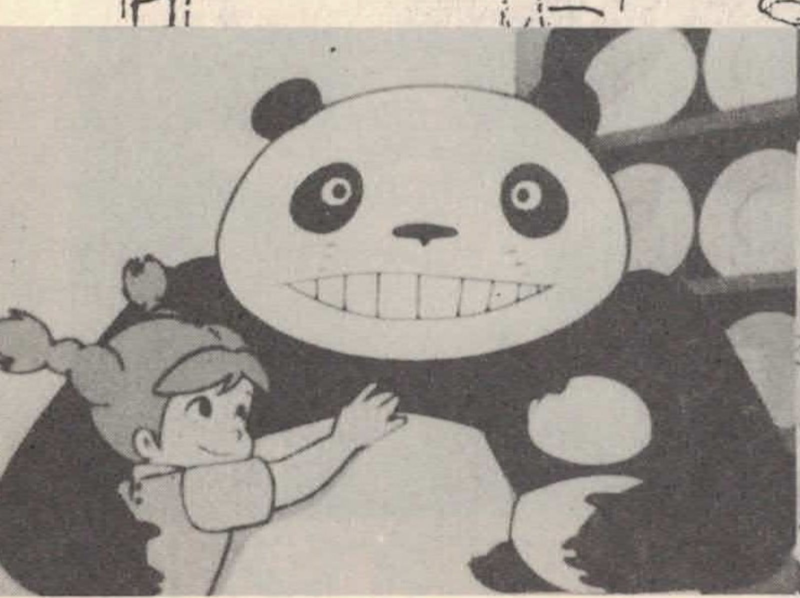
――大塚先生も「草原の子テングリ」や「四谷怪談」などで、演出をなさってますが……。

大塚　まあネ。ちょっとやったけど、あんまり演出といえるようなものじゃないです。











だいたい、アニメーターが演出やると不幸になるっていいますね。
自分が、なまじ描けるでしょう。だから、人に描かせた絵を自分も描きたくなるし、直したくなるでしょ。だから、自分で描いた方が楽しいですよ。
ぼくは、描いて、おもしろいシーンを担当した方が、演出するよりいいですね。
——でも、原画の側とすれば、キャラクターのイメージが固まると、(演出家の)絵コンテなんかない方が良くないですか？
大塚　う——ん。そういう事もあるんだけどね。やっぱりコンテは、一つの作品の羅針盤なわけで、全員がそれでやってるから、演出が、なかったらメチャクチャになりますね。
だけど、演出にまかされて、自分のシーンのコンテを切ってみるってのは楽しいことですよ。コンテを演出に見せて、演出が、ああ、ぼくの思った通りだとなれば、それでいいし、おかしければ議論してね。
元の、昔の東映がね、「わんぱく王子の大蛇退治」なんかで、そういう事やってましたね。ただ、それは原画に、ザッといる原画に力があればできることですよ。演出は全体見てるのに、その部分だけメチャメチャじゃ困るからね。



ぼくのは想像上のリアリズムだよね

——あと、大塚先生の動きでは、リアリズムという事がよく言われますが。
大塚　それは、あなた達が、実際に絵を描くと出合う問題だろうね。
お茶を飲んでいる絵を描くときにね、例えば、茶碗をどう持つかですよ。実際にね、何にでも、描きいい絵というのがあるんですよ。そして、注意してないと、それを描く。ぼくはね、自然に描きたいわけ。ただ、見ていて、技術的にどうこうというのはわからないよね。あなた達が見る時は。気にならずに見てるんですよ。でも、どこか潜在的な意識の方で、うまい！　とは思ってる。（笑）





マンガ映画というのは、入れものが半現実的でね。「未来少年コナン」なんて、あんな風に親指で翼つかんだり、（笑）できるわけないでしょう。でも、妙にリアルでしょ。本当にやってるようだから、あの映画は成立するわけです。

宮崎さんとか、高畑さんとか、きわめてリアルな発想で節々をかためようとするからね。それは、森さんもそうですけどね。ただ、リアル一辺倒ではおもしろくないわけでしょ。

―ライヴアクションでは、なんとなくつまらないですね。

大塚　ぼくの言ってるリアリズムってのは、ライヴアクションじゃないのね。想像上のリアリズムだよね。

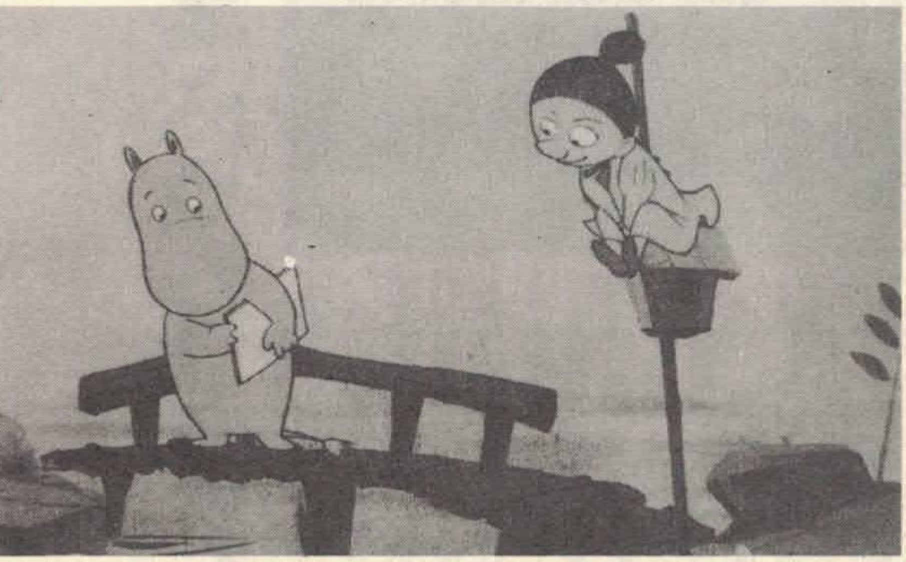
やっぱり、ぼくらがリアルなつもりで描いたものでも、随分マンガになってるわけ。だから、実際のリアリズムから起こしたライヴアクションとは、だいぶ違うかもしれない。

―でも、ライヴの方がおかしく見えるんですけど…。

大塚　不自然にね。そうですね。（笑）不思議だね、あれは。

それに、絵がね、あまりにも現実に近ずいてしまうとね。気持ち悪いよね。

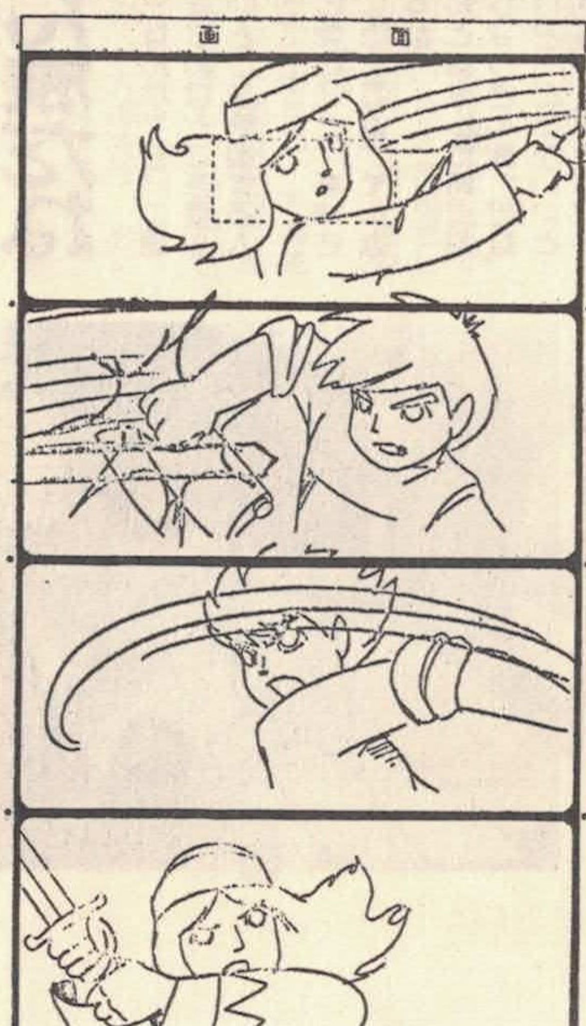
つまり、人間の頭の中での、イメージの中でのリアリズムの方が、やっぱりいいって事ですね。現実のリアリズムよりね。



マンガ映画にも、二種類あってね。

大塚「おこがましい」って言葉があるでしょう。あの上の「おこ」って人が、昔いたんですよ。どういう人かというとね、偉い人の側に必ず一人いて、その人が退屈するとね、馬鹿な話するわけですよ。それも、ものすごく誇張したね。そんな馬鹿な話も、つくり方かえると、おかしいわけですよ。そういう馬鹿な、ありうべからざる事を語るのが、人類が始まって以来いるんですよ。マンガ映画も、元来はそうだったわけ。そして、ぼくや宮さん（宮崎駿さん）は、そんな馬鹿なのをやりたいわけです。まじめな顔してね。

でも「ガンダム」みたいに、まじめな、ニコッともしない映画も近頃あるね。しかし、多くの人が、それにマンガの意味をみつけてるでしょ。だから、そういうのもやっぱりおもしろいんだなあ、と、ぼくは最近思ってるけどね。







ルパンって今でいう、ひょうきん族だね

大塚 ルパン（旧版）なんかでも、二通りに別れるよね。まじめなとこを喜ぶ人と、バカバカしいとこを評価する人とね。

―大隅さんが演出したとこと、高畑さん宮崎さんが演出したとこは、そんな風に感じが違いますね。

大塚 最初、大隅さんと話をした時にね、これは今でいう〝ひょうきん族〟だね、まあ不まじめな、けど、どこかいいとこのある軽い人物だろうと思って、そのつもりでぼくは描いたんですね。そして、色気とかさ、音楽とか、作品が気どっていたんですよ。ところが、視聴率が上がらないんで、後半になると、そんな「殺し屋ブーン」みたいな（笑）気取った話を、追っかけの〝まんぐぁ映画〟に（笑）直しちゃったんですよ。

―ぼくらは小さい頃、前半も喜こんで見てましたけど。

大塚 だからね、ルパンがいいっていう人にとっては、まじめなとこも、バカなとこも、一緒になってるんだね。

だけど、ルパンの解釈にもいろいろあったけど、大隅さんや宮さんの解釈は間違ってないと思うね。

―演技としては、どうですか？

大塚 ルパンが、劇中で化けるようなのが好きですね。（笑）



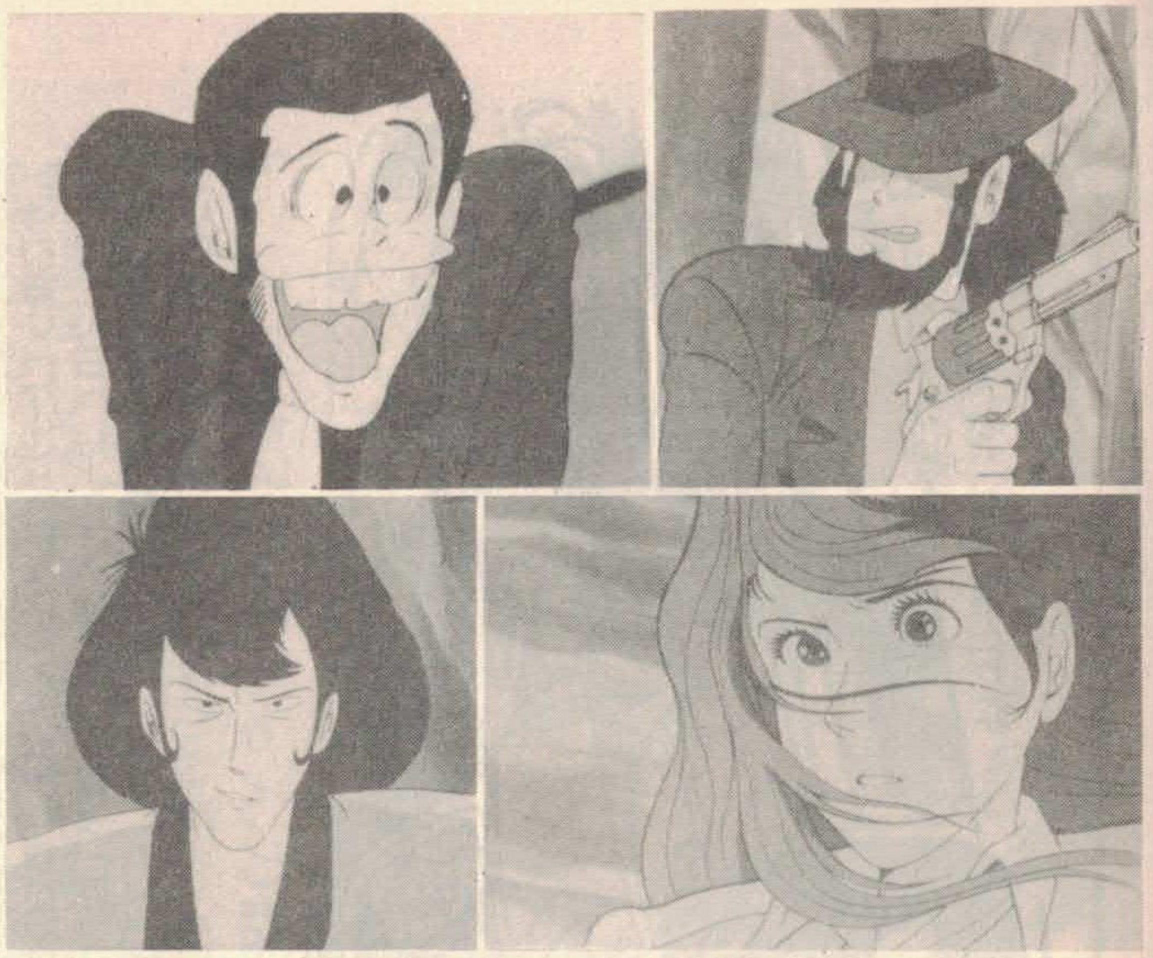
森さんや、小田部さんという人は、役者に例えれば、実力派、演技派ですよ。笠智衆みたいにね。ぼくなんか、いつもやってますよってやってる、ドリフターズかな。（笑）ルパンはそうですね。コナンでいえば、ダイス。そういった演技が好きですね。（笑）わざとらしいのってのは、嫌いじゃないですね。ルパンってのは、全体的にそんな雰囲気がありましたね。

五エ門だってそうですね。気どっちゃってネ、あの馬鹿、一番馬鹿だと思うんですよ。

―（一同爆笑）

大塚 宮さんも、そういうつもりがあったから、〝カリオストロで、クラリスを〟ちらっと見て、紅くなって「美しい」

●インタビュー大塚康生
収録★昭和57年3月26日　シャトルにて。
インタビュアー★佐野・冨田・
フンガモ・岩本
採録★岩本



—（一同再び大爆笑）

大塚　なんて…だから、皆で馬鹿にしてるんですよ。だって、時々、いきなり刀を抜いたりして、時代遅れでさぁ。

—あの中で、一番現実的というと、次元ですか？…

大塚　いやあ、次元は現実主義というよりも…あれも、馬鹿だからねェ（笑）鉄砲撃ちゃうまいというだけでさぁ。他に芸は、ないですからね。（笑）

—大塚先生は、不二子みたいなタイプの女の子が好きだって聞きましたが。

大塚　まあ、そうですね。純情すぎる女性は描きにくくてね。やっぱりオレはさばけた年上の女性の方がいいなあ。だから、宮さんなんかに嫌われるんですよ。

—（一同、また、大笑い）

話題は、多様多種で、お仕事のことから趣味のことなど、いろいろとお聞きしたなかで、今回は、製作面のお話しを中心にピックアップしてみました。

アニメーション製作に関する、大塚先生の厳しい見方。そして、御自身の作品へのさばけた感覚。些少でもお伝えできればよいのですが。

最後になりましたが、大塚先生、おいそがしい中、長時間本当にありがとうございました。今後とも素晴らしい作品をつくり続けてくださいますよう。

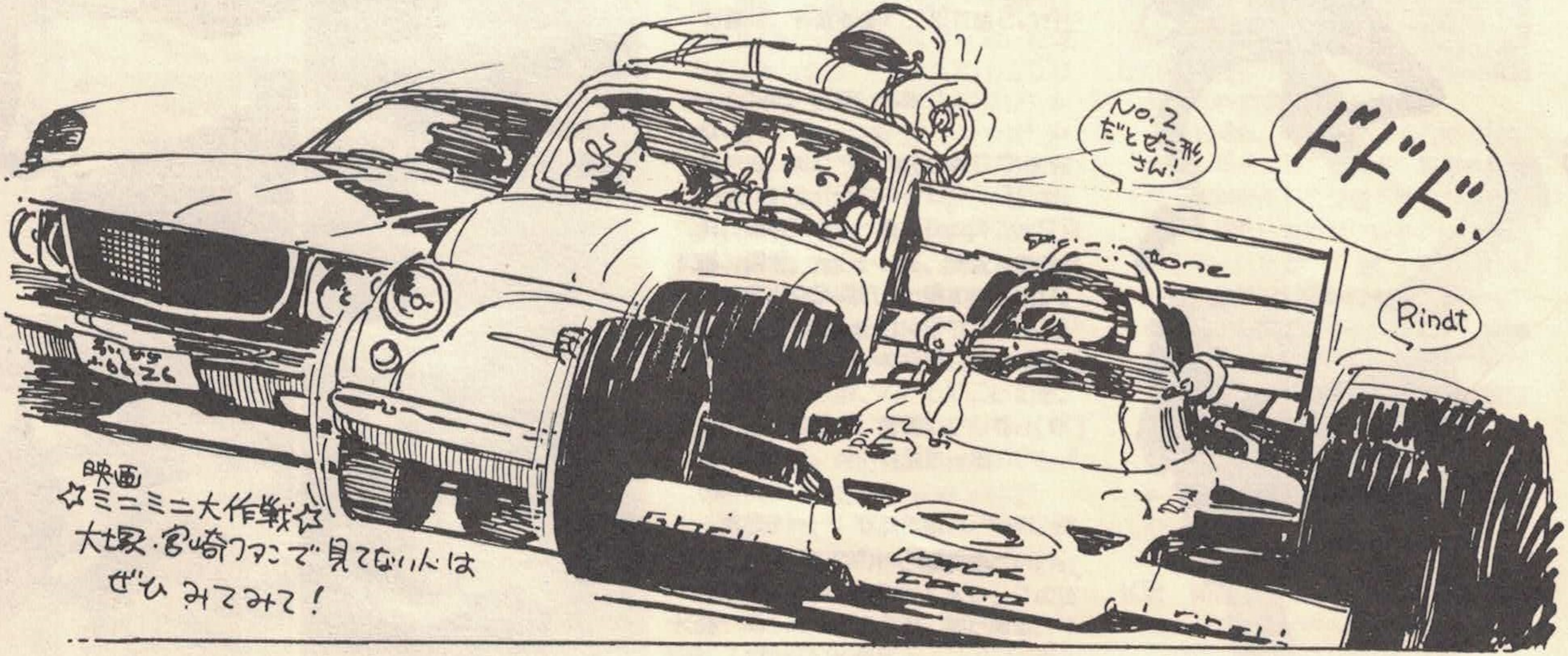


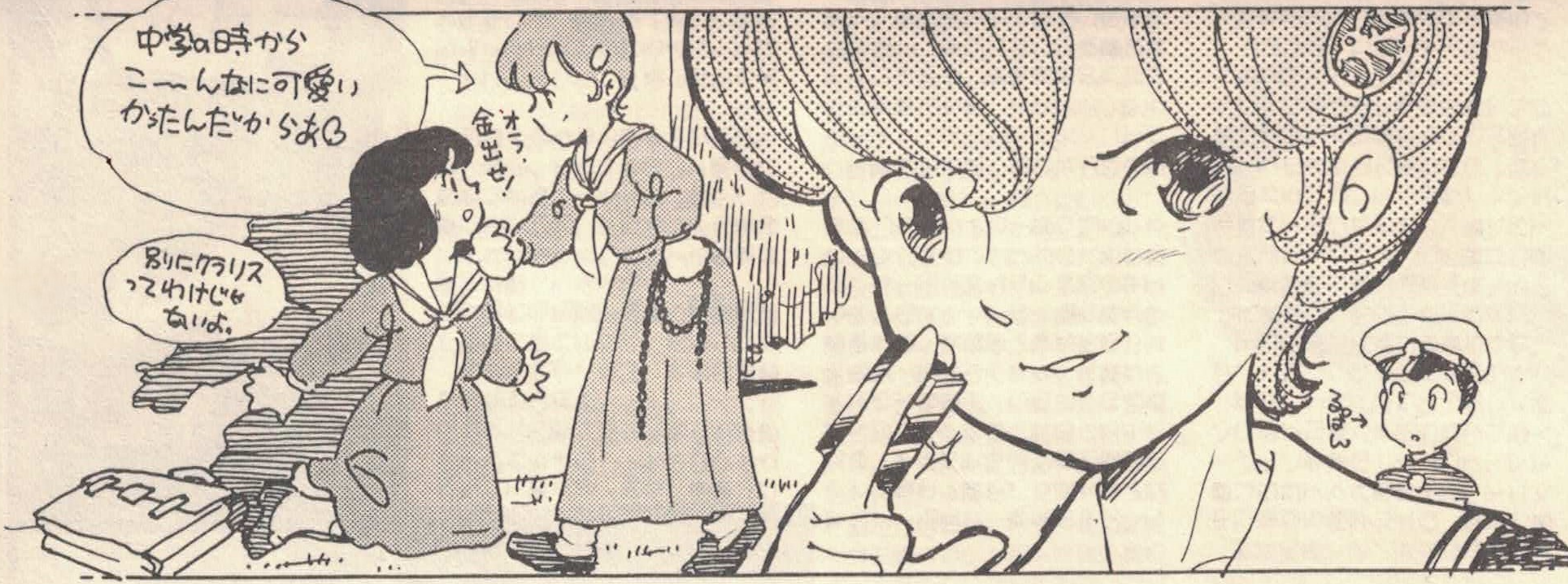
☆大塚康生さんはアニメ界のパトリック・デパイユだ！☆　早坂未紀

「え？大塚さん特集！わーい車・車!!」とかいって簡単に引き受けてしまった。旧ルパンオ1話、あれを初めて見た時はブッとんだね！中学の時かな…すごかったあ！（カリオストロのカーチェイスとはまた違った意味で…）

その後もレース物のアニメはいくつかあったけど…どーもいまいちピンとこないんだよね。シビアな（オーバーアクションの迫力も）あーいう車の走りはやっぱり大塚さんが最高！なんかこう職人的な徹底した所があるでしょ。あの、ティレルなんかに乗ってたデパイユおじさんと共通するものが感じられるんだよね。（2・3年前…どのレースでも、あれっと思うと、しっかり2位でゴールしてるんだ。1着が1回あったかな？）

いつか宮崎さんと組んで、Wニッケルレース（それこそミニからBMWターボ、13B積んだRX－3、はてはダッチのトラックまで出しちゃっておもいっきりハデに…そしてリアルに…）いつかやってほしい！

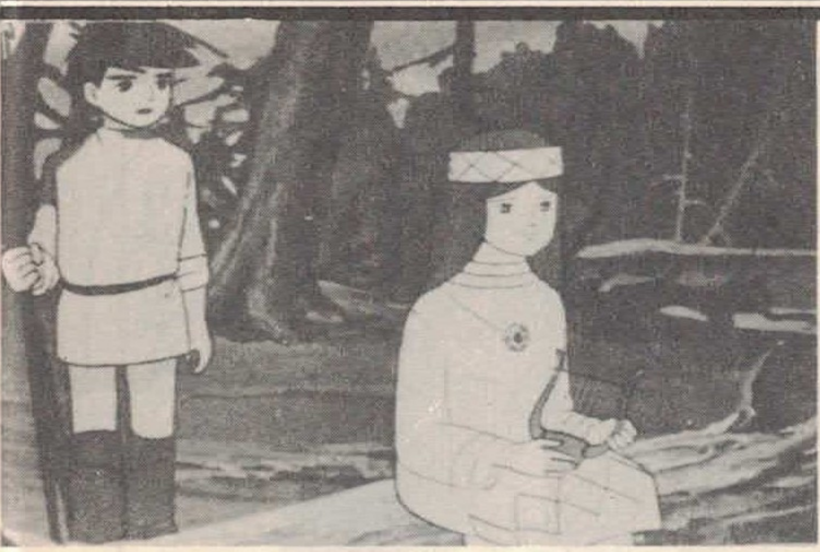




☆ところで峰不二子ちゃんの話☆

こういうタイプの女の子(女の人かな)ってのは、そーとーシンドイ所あるよね。へたな男以上の能力あるし、気まぐれだし、何考えてるのかわかんない所あるし、いつ裏切られるかわからん‥‥普通の男じゃ手におえないよ。でもホントはすごく弱い所あるし、甘えっ子だし(たぶん)宝石やニセ札の原盤なんてどーでもいいんだよね。ルパンに甘えてるだけじゃないのかな?(じゃれてるっていうか‥‥)実は、画面に出ないルパンと二人きりの時は(なれ合いや、かけ引きぬきで)すっごくルパンに甘えてたりして‥‥。ルパン追いかける不二子逃げる。ルパン立ち止る不二子ふり返る。ルパンまた追いかける不二子逃げる‥‥これじゃ一生つかまらんわな。(つかまってほしいとも思わんが‥‥)でも、ルパンが不二子をつかまえた時を見てみたい気もするけど。(フクザツ)

やっぱ、旧シリーズの不二子が一等すきさ♡





ミーハーから見た大塚康生さん
動画家はブルースをうたう

文・冨田泰彦
イラストレーション・さえぐさじゅん

見る者の心の中に、そっと、それでいて確かな〝何か〟を感じさせてくれるもの…そんな作品との出会いの想い出は、きっと誰もがお持ちのはず。

その〝何か〟とは、作者の信念や感情の現れなのか、あるいは作者と受け手である私達とを結ぶ相通ずる想いであるのか…。

それを断ずるのはとても危険な事だろうけど、その創り手の真剣な想いを通じて見える〝何か〟とは、私は、その作者の〝人間性〟に他ならぬものと思うんだよね。

アニメーション映画は集団作業によって生み出されるもの。でもその中にも、確かに〝何か〟はある。作品全体に、あるいは個々の演出や、画面や、作画の中に、スタッフ達の〝何か〟が見えるんだよね。そういう作品をあげるなら、例えば、そうあの「太陽の王子ホルスの大冒険」。この日本の動画映画史上屈指の名作は、大塚さん、高畑さん、宮崎さん等を初めとする多くのスタッフの人達の個性や努力が、60年代という時代の中でひとつに和合したことの大きな成果だと言えるんじゃないだろうか。

大塚康生さん。言わずと知れた名アニメーター。ジープマニア。軍用車輌の大家。プラスチックモデルにも凝る。東映動画時代は労組の闘士。更に以前には麻薬取締官で、高給取りから薄給の動画家に転じた人。そしてまた、作品の中に単なる描写以上の〝何か〟を感じさせてくれる数少ないアニメーション作家の一人として、ファンの間では強く支持されている人。

では、その大塚さんの持つ〝何か〟とは、いったい何なんだろう。

アニメージュ誌に連載された、「大塚康生の作画汗まみれ」にて、ご自身が東映動画創設以来、どんな作品にかかわり、どの様な仕事をされてきたかを詳しく書かれておられるけど、でも私達ファンには、その背後の大塚さんの〝何か〟が、そして大塚康生という人間の姿が、いまひとつ飲み込めていない様に思えるんだよね。

とはいえ、せめて一人のミーハーが作品を通して見た〝大塚さん像〟について触れてみたいと思う。

★動画家はブルースをうたう





演出よりは作画が

　集団作業で行なわれる動画映画の製作の中でも、演出という仕事は、自己の価値感・世界観で作品世界を統合・構築する仕事故、作品の中にその個性等が最も現われやすいものと言えるだろうけど……でも大塚さんの二作の演出作品のうち、「草原の子テングリ」では手塚治虫の原作と発注者の意向にしばられて、テングリ少年は人間の住む村から離れて行き（太陽の王子の逆ですね）もうひとつの「四谷怪談」も、内容・語り口から間合いに至るまで〝芸〟として完成された鼎談に、ただ画面をつけ足す作業で、いわば絵コンテだけの様なもの。（お名前を出したがらないわけです）

　どっちも大塚さんの世界が展開されたとは言えないよね。ご自身でも演出より作画がいいとおっしゃっているし、やはりこれまでのところ、大塚さんらしさは作画の中にこそうかがえるようです。

リアリズム、個性そして…………

　大塚さんはその長いアニメーター生活の第一歩を、東映動画の歴史の第一歩と共に踏み出します。

　森康二さんの「こねこのらくがき」大工原章さんの「ハヌマンの冒険」といった作品を経験された頃は――〝自分の絵〟というものはなくてもよく、ただ自由に動かせる職人に、〝動きが生命だ〟という高さに達したい（「汗」より抜粋）――と思っておられたとか。

　若い大塚さんが、森さん、大工原さんという二人の名アニメーターの個性にとまどっていたように、生まれたばかりの東映動画も、動画映画製作にかなりのとまどいを持っていたらしい。そのあたりの事は「汗」に詳しく書かれているけれど、初期東映動画の〝ライブアクションの多用〟もそのひとつじゃないだろうか。

　動画におけるリアリズムは現実とは別個のもの。例え現実の動きを1秒24枚そのまま描き写したとしても、それは圧倒的でこそあれ、うす気味悪いぐにぐにした動画になるだけのこと。

　それ故動画家は、現実を〝描写〟するのではなく、人間の想い描く動きのイメージこそを捕えて、いかにも現実の様な〝表現〟をこそせねばならぬもの。そしてそのイメージの捕え方の違い、あるいは解釈の個人差――美か、自然さか、感情か、ダイナミズムか、また他の何かか――が、個々の動画家の〝味わい〟の違いとなり、〝個性〟となって行く。

　動画映画では、現実は表現されるべきもので、追求されるものではないはずなんだよね。ライブも参考程度なら良いんだろうけど、それにつかまっちゃあ、ね。

　まあとにかく様々な試行錯誤を通して、東映動画が曲がりなりにも〝東映調〟というひとつのスタイルを築いていった様に、大塚さんもまた、動きに対する解釈をより明確化し、やがて自分の絵ならぬ〝自分の動き〟という〝個性〟を確立して行きます。

　そして秀れた個性は輝くもの、「わんぱく王子の大蛇退治」のオロチとの戦いとその存在感や、あ



の「太陽の王子ホルスの大冒険」東映動画を退社された後の「ルパン三世」といった作品を通じて、その中に見える大塚さんのダイナミックな作画は、いつしかこう呼ばれていたんだよね。"大塚アクション"と。

大塚アクションの"本当らしさ"

どこかで大塚さんは、こんな事を書いておられました。――アニメーションは絵でとらえた真実でなくてはなりません。実写以上に"本当らしく"なければどうにもならないのです。

確かなデッサン力をその基においた、存在感豊かで伸びやかな絵、ダイナミックで、そしてリアル感に満ちた動き、大塚アクション。見事にとらえた動きの本質。

街角で見かける車の発進なんて"ただ走り出す"だけでつまんないもの。でも「ルパン三世」では、車はおっそろしくハデに、でも確かな実感をともなってすっとんで行く。絵でとらえた真実、漫画的誇張に満ちたリアリズム、大塚さんのオーバーアクションは、コミック的効果のみならず、実写以上の"本当らしさ"を生み出す手段でもあるんだよね。

そうしたリアリズム志向を如実に示しているのが「ルパン三世」の最初のオープニングフィルム。

車は走るわ銃は撃つわ吹っ飛んだ破片は煙を引くわキノコ雲はたつわ家はバラバラ車もバラバラもう大変なのだけれど、やっぱり見てもらうのが一番。また一部シーンが10年後「カリオストロの城」で描きなおされており、両者の動きの方向性を(良し悪しじゃなくて)比べてみるのも興味深いもの。



●マニアの方へ ―大塚さんのキャラでないカットもまじってるけど気にしない、気にしない―!!

足が地面についてるって実はたいへんな事なのだ

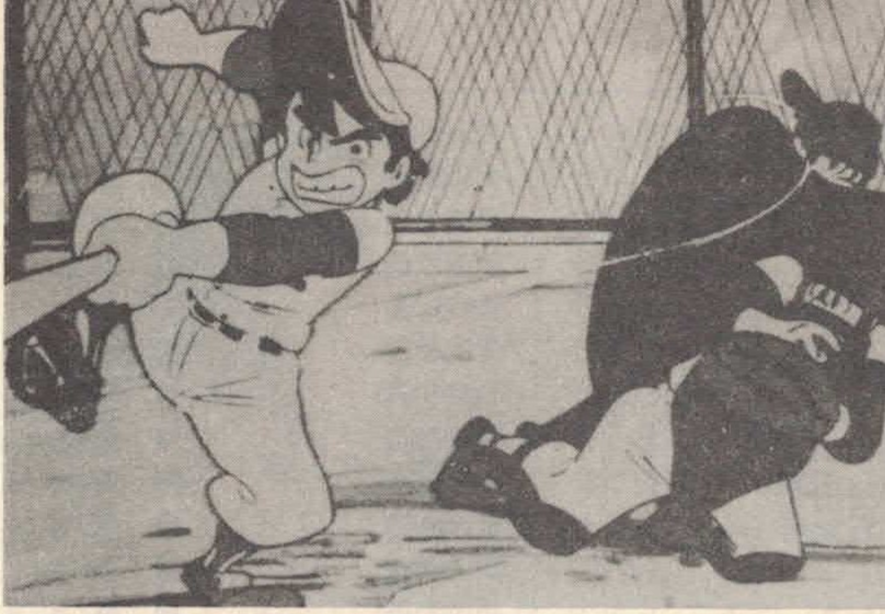
大塚さんには、今見ると旧ルパンは技術的に不満、なのだそうで。それは枚数の使えた作品ではないにしても、様々な点でそれまでのTVアニメと一線を画している事もまた確か。ストーリィの面でも、画面の面でも。

絵でとらえた真実。それは動きだけでなく、画面全体でウソをつかぬ事でもある。





ルパン達が立つ時、足が地面についている。なんかごく当り前の事の様だけど、それがそうじゃないのだ。足が地面に着くと背景は地面を描かなきゃならない。地面を描くとその後方の木立ちや建物とのパースをちゃんと合わせなきゃならない。あげく、動けばパースによる変化も描かにゃならない。下手描きゃすぐバレてしまう訳だ。あげく、車でも走ろうもんならタイヤが地について、バックがぐあ〜っと流れて、ガラスの隅やバンパーのクロームメッキにそれが写ってモクモクモク…。ただ横向きに走るだけならまだしも、それだけじゃないしねェ…!



作品世界が生きるには確かな作中人物が必要。また、作中人物が生きるには確かな作品世界が必要。「ルパン三世」で何故にひつこく画面が描き込まれたのか…それはキャラクターの〝存在感〟を表現する為であり、また確かな世界を築きあげる為ではないんだろうか。

アニメーションは絵でとらえた真実でなければいけない…という言葉は、動きについてのみ述べられた言葉じゃあない。人間の行動や感情や存在、それを支える車や銃や土地やありとあらゆるもの。世界、そうした存在の、幅広い意味での〝存在感〟の表現について述べた言葉じゃないだろうか。

そう、ルパンも次元も五エ門も、そして不二子ちゃんも、いかにも〝生きて〟いるもんね。



動画家はブルースをうたう

マンテスタッフとしてお会いして判ったことなんだけど、大塚さんって物の表面だけでなく、その奥の本質を見ようとする人なんだよね。そしてそれが、何故ああ動くのか、どう動かすか、あの車はどうしてあんな形をしているのか、どういう構造なのか、どう変化したのか、あの人間は何故ああなのか、どうしてこんな行動をとるのか、背後の社会基盤は、歴史は…そうした作画、趣味、人間観、世界観、全ての事に直接つながっていて、それだからこそそうした、〝本当らしさ〟〝存在感を描こうとなさるのだ…と、そんな印象をうけたのです。（だから反面、私の頭のカラッポさが見通されるのではないかと、すごく怖かった。）

ただそれだけに大塚さんは、集団作業の特質ということをよく考えられてか、自分から積極的に作品全体を引っぱって行くことをあまりなさらないようです。

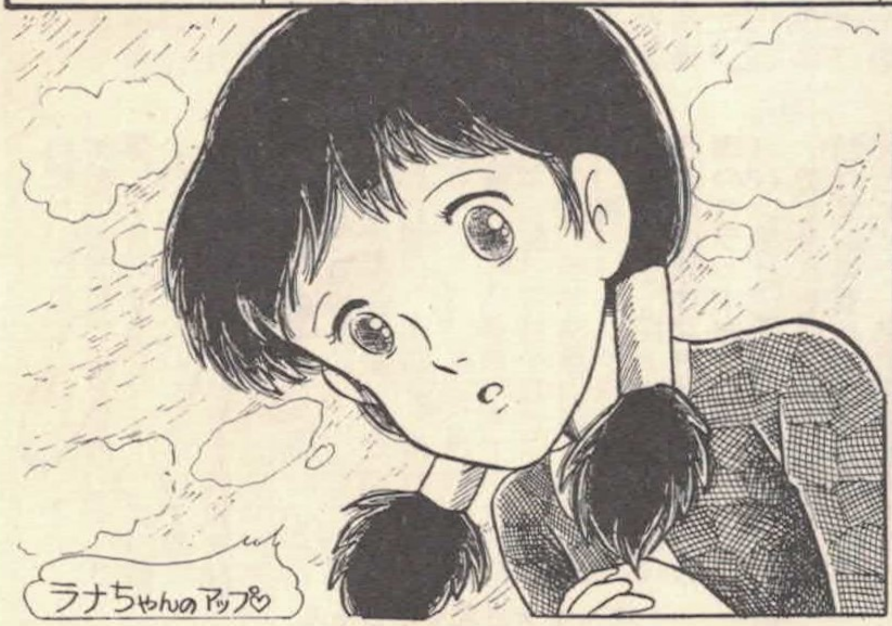
ですが、インタビューの終りぎわ、今どの様な作品を創りたいかお聞きしたところ、創りたいものは企画にして（会社に）出しちゃうから、話せないのだとのこと。その未知の作品が製作されることに期待しようじゃないですか。その中でこそ、また、大塚さんの、〝何か〟が発現され、私達ファンの前に明らかにされるのでしょうから。



カット★さえぐさじゅん

32年10月	ハヌマンの冒険	14分	東映動画	（動　画）
32年11月	かっぱのぱあ太郎	14分	東映動画	（動　画）
33年9月	白　蛇　伝	78分	東映動画	（動　画）
34年6月	たぬきさん大当り	15分	東映動画	（動　画）
34年10月	熊と子供たち	15分	東映動画	（動　画）
34年11月	少年猿飛佐助	83分	東映動画	（原　画）
35年8月	西　遊　記	88分	東映動画	（原　画）
36年5月	安寿と厨子王丸	83分	東映動画	（原　画）
37年5月	アラビアンナイト・シンドバッドの冒険	81分	東映動画	（原　画）
38年3月	わんぱく王子の大蛇退治	85分	東映動画	（原　画）
38年11月～40年7月	狼少年ケン （TV）	86回	東映動画	（原　画）
39年6月～40年8月	少年忍者・風のフジ丸 （TV）	65回	東映動画	（原　画）
40年3月	ガリバーの宇宙旅行	80分	東映動画	（原　画）
40年11月～41年4月	ハッスル・パンチ （TV）	26回	東映動画	（作画監督）
43年4月	太陽の王子・ホルスの大冒険	82分	東映動画	（作画監督）
44年2月	長靴をはいた猫	80分	東映動画	（原　画）
43年3月～46年9月	巨人の星 （TV）	181回	東京ムービー	（原　画）
44年10月～45年3月	ムーミン （TV）	26回	東京ムービー	（作画監督）
46年9月～47年6月	天オバカボン （TV）	40回	東京ムービー	（原　画）
46年10月～47年3月	ルパン三世 （TV）	23回	東京ムービー	（作画監督）
47年10月～49年9月	ど根性ガエル （TV）	103回	東京ムービー	（原　画）
47年12月	パンダコパンダ	33分	東京ムービー	（作画監督）
48年3月	パンダコパンダ・雨ふりサーカス	38分	東京ムービー	（作画監督）
48年10月～49年3月	侍ジャイアンツ （TV）	52回	東京ムービー	（作画監督）
50年4月～9月	ガンバの冒険 （TV）	26回	東京ムービー	（原　画）
52年	草原の子テングリ	21分	桜映画社	（作画監督・演出）
52年9月～53年3月	おれは鉄兵 （TV）	28回	日本アニメーション	（レイアウト）
53年4月～10月	未来少年コナン （TV）	26回	日本アニメーション	（作画監督）
54年12月	ルパン三世・カリオストロの城	100分	東京ムービー新社	（作画監督）
56年4月	ジャリン子チエ	110分	東京ムービー新社	（作画監督）
56年6月	姿三四郎 （TV）	（特番・1時間半ワク）	東京ムービー新社	（原　画）
56年8月	四谷怪談 （TV）	（特番・1時間ワク）	東京ムービー新社	（演　出）
57年～	シャーロック・ホームズ （TV）	―	東京ムービー新社	（作画監督？）

その他、虫プロの「Wろ」（40年）のオープニングの作画もやっておられます。



大塚康生 アニメ年表

カット・さえぐさじゅん



大塚康生関係リスト

特集

55年1月　アニメージュ「大塚康生の世界」
55年1月　動画狂4+5号「大塚康生さん特集」

インタビュー

51年　FILM1/24 No.8~9「大塚康生さんのお話」
51年7月　FILM1/24 No.10「わんぱく王子の大蛇退治」
54年12月　FILM1/24別冊「未来少年コナン・スタッフインタビュー」
54年12月　月刊アニメーション「アニメ作家インタビュー」
56年4月　バラエティ「しねまあるちざん・大塚康生」
56年8月　アニメージュ「宮崎駿を語る」
57年4月　THIS IS ANIMATION「アニメ世界の戦士たち」
57年6月　マイアニメ付録「ルパン三世を語る！」

手記・コメント

52年1月　ファントーシュ5号「森康二の世界・森さんと私」
53年9月　東映動画長編アニメ全集・上巻
53年12月　アニメージュ「アンコールアニメ6・ルパン三世」
54年11月　アニメージュ「ルパン三世・カリオストロの城」
55年10月　アニメージュ「芝崎努について」
56年2月　アニメージュ「アニメーション界淑女録」
56年3月~57年2月アニメージュ「大塚康生の作画汗まみれ」
56年7月　アニメージュ「アニメージュ裁判」
56年10月　アニメージュ「私の大好きなメカ」
56年11月　アニメージュ「ミステリアスな女峰不二子をさがせ！」
56年11月　アニメージュ「甦る感動‼モノクロアニメ傑作選」
57年6月　PEOPLE「'81年スポット」

対談

56年2月　アニメージュ「大御所VS.第三世代座談会」
（大塚康生・安彦良和・金田伊功・友永和秀・貞光紳也）
56年6月　アニメージュ「中国美術電影動画」
（大塚康生・宮崎駿・高畑勲・古川タク）
56年6月　マイアニメ「じゃりン子チエの製作を終った今」
（大塚康生・高畑勲・小田部羊一）
56年8月　100てんランド・アニメコレクション
「ルパン三世・カリオストロの城」（大塚康生・宮崎駿）
56年12月　アニメージュ「アメリカンアニメスピリットインタビュー」
（大塚康生・ドナルド・クリステンセン）
57年2月　アニメージュ「'81-'82アニメ総括と展望」
（大塚康生・安彦良和）





特集大塚康生
企画構成・佐野邦彦

追加　6月に発売された「パンダコパンダ」のレコード（キング）にも大塚康生さんのコメントが載っています。
7月発行の100てんランドアニメコレクション「ルパン三世」PAPT.2 にインタビューが掲載。



煙草一本　夢一本
煙草百本……
—朱子の独り言—
煙草(たばこ)モクモク
byみずまともやみ
さて
トン…
今日も一服
火
あいっ♡
ん！ごくろう
ふーっ
！
おこんばんわ ご主人さま
願いごとを かなえて あげるわよ


そうねエ じゃあ
学生服着た すてきな おじさま 一匹！
はいな
はじめ まして お嬢さん♡
えへ
うふ おヒゲ チクチク
ムフフ…
はい それまで
パッ
えっ
魔法は煙草と 同時にきえるの
ごめんねエ
じゃあね
パッ
朱子ちゃーん ガス切れちゃった
お友達を つれて らっしゃい
ケホ
健康のため 吸いすぎには 注意しましょうね
S57. 5. 25

大友克洋のニューシネマ的世界

佐々良平

つねにぼく達の周囲では、様々な出来事が起こり続けている。そしてそれらの出来事はその時々の周囲の状況や、その当事者となった人の性格など数多くのファクターによって、当然そうあるべき必然的な結末を迎える。その結末がたとえどの様なものであっても、当事者にとっては少しも意外性のない、当然の成り行きである。ところが、その当然の成り行きを何回もくり返えしているうちに、当事者でない客観的な目を持った人々にとって、実に奇妙に思える結末が導き出されていることがしばしばある。大友克洋の描く世界とは、こんな世界なのだ。

よく大友克洋は、彼特有の絵柄について話題にされる。彼の絵柄は、ぼく達がマンガの中から大友克洋の世界を感じとるために、欠く事ができない要素だ。

非常に正確なデッサン、とても細かく描き込んであるのに妙に整然としているペンタッチ、効果的に浮き上ったコマの中の白い空白など、今まで見た事のなかった手法で彼の実在感ある世界が展開して行く。

良く言われる事だが、例えばSF映画を作ろうとする時、どんなに面白い原作を選んでも、背景やコスチュームをきちんとしなければ、とても見られたモノではない。

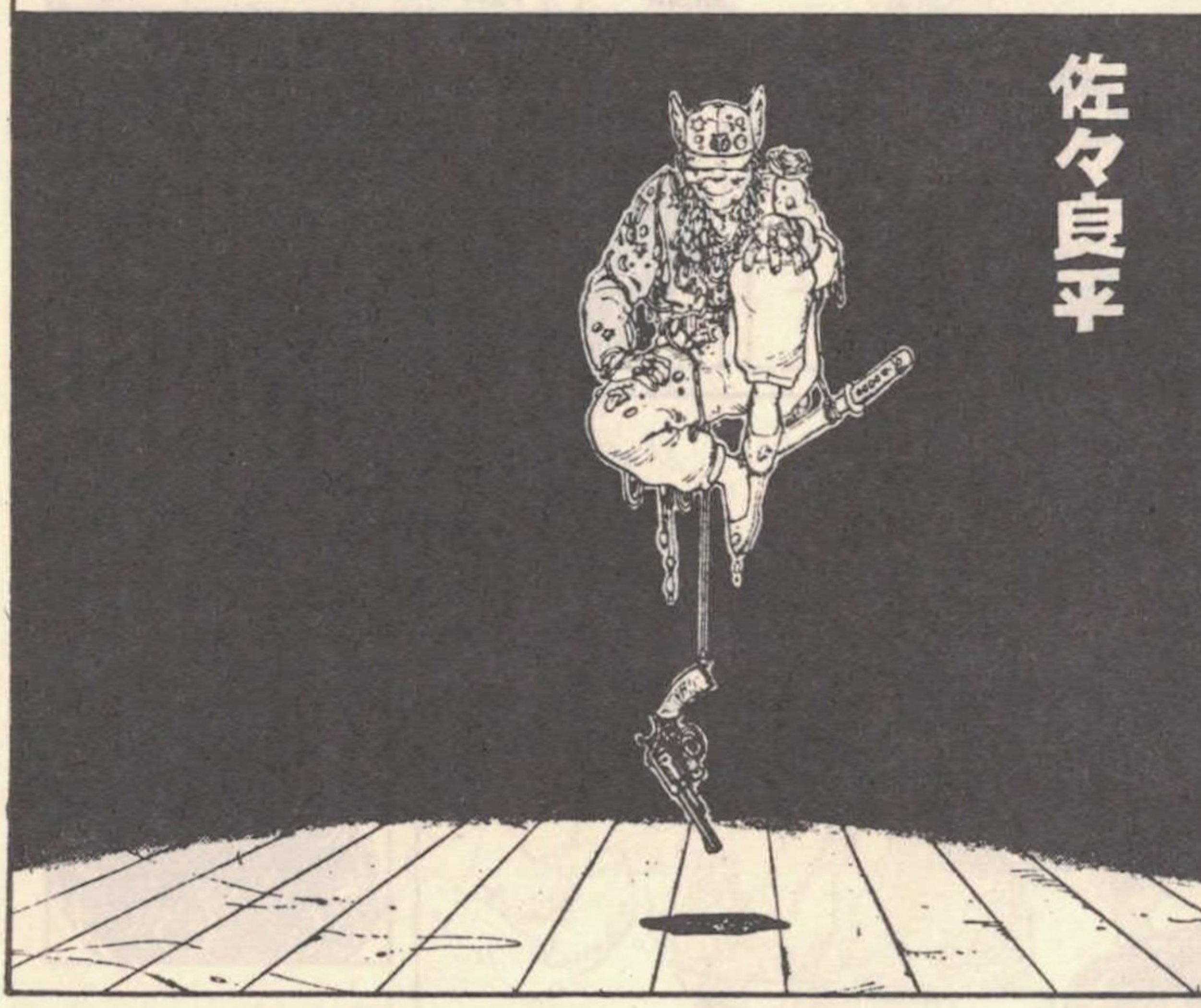
大友克洋は、彼の手法で一コマ一コマの中に、他の作家では比較にならないほど多くの、曖昧で感覚的な情報を盛り込み、彼の世界を充実させる。その、映画やマンガのストーリー自体とは直接関係のない背景となる舞台を充実させる事によって、その世界は三次元的奥行きを深める事ができる。

かつて手塚治虫のマンガが映画的だと言われた時がある。大友克洋の作品も映画に例えるならば、手塚治虫はハリウッド映画的世界であり、大友克洋はニューシネマ的世界である。

大友克洋はストーリー性がどうも……という話を時々聞く。彼の作品は、ごく平凡な人が迷い込んだ非日常的な事件を、鋭い刃物で切り取ってきて、それをマンガの上で正確に再現したものである。

人為的な盛り上がりもないし、場合によってはオチさえない。主人公の多くはいかにもありそうな、それでいて、最悪の事態に立ち往生し、なすすべもなくストーリーの終りをむかえる。

自分とは直接関係のない人が、ぬきさしならない困難な状況には



まり込んでもがいている様子は、時としていけないと思いつつもひどくこっけいに見える事がある。この独特なおかしさが大友克洋の作品には含まれている。

困難におちいる人物は、ごく普通の人間で、生々しく性格まで描写されており、親近感すら感じるが、あくまでも他人であり、感情移入はしにくい。だからその人物が困りはて、まごまごし、ますます事態を悪化させるのを見ると、思わず他人事に対する表面的で乾いた笑いが起きてしまう。



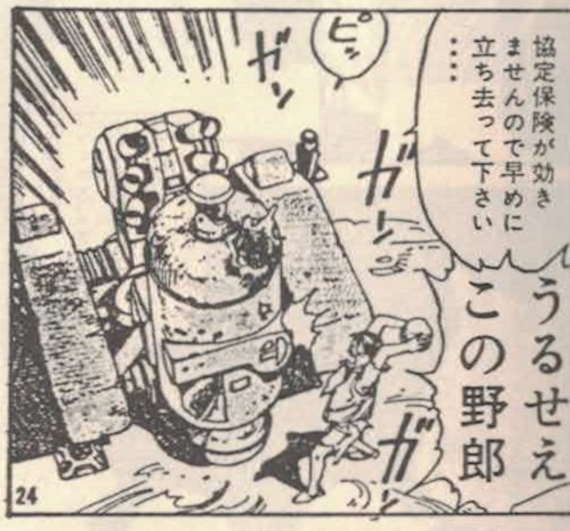
それでは、大友克洋の描く、親近感はあるが感情移入しにくい人物とはどんな人物なのだろうか。

例えばぼく達にとって最も理解しやすいはずの学生達はどうだろう。彼の描く学生は、常に自分自身の生活に満足せず、そこから抜け出そうとしているのに、それができずにいる若者達だ。そしていつも非建設的な事ばかり考えている。それに対し、他の作家の描く典型的若者像はどうだろう。それは、何らかの形で作家自身の日常からぬけ出した造り物の若者像だ。

後者を、クラスのヒーロー的存在の友人に例えると、前者は、もう顔の見あきた悪友達に似ている。

ぼく達は、ヒーローには喜んで感情移入するが、べつに悪友に感情移入したいとは思わない。





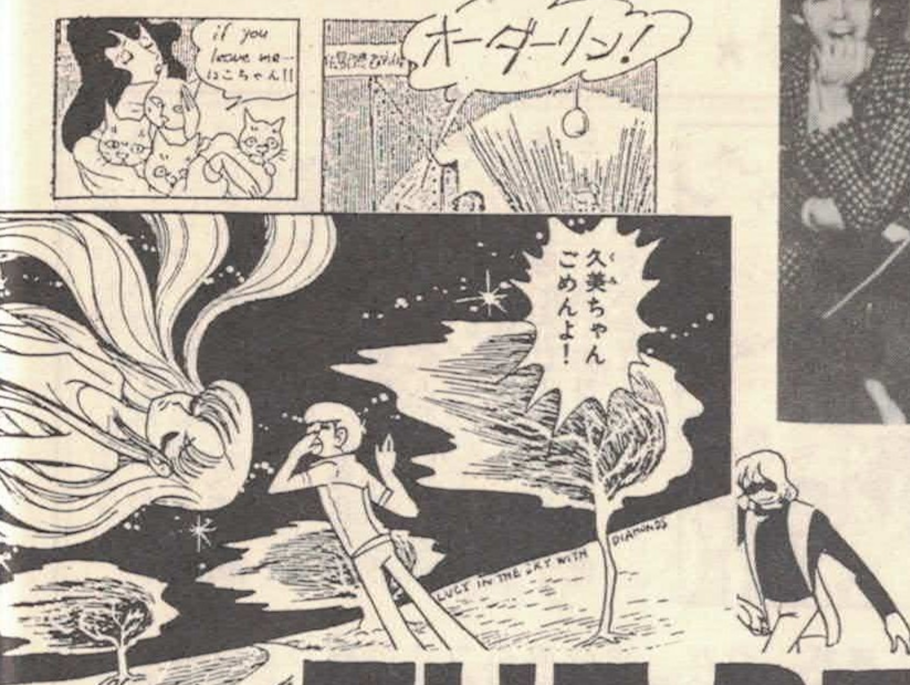
女の子のキャラクターも大友克洋に描かせると独特な雰囲気になってしまう。彼の作品にはステロタイプの〝かわいこちゃん〟はあまり登場しない。目立つのはシビアで現実的な女の子達だ。

どうしてこの様な性格の女の子しか描かないのだろう。女の子のキャラクターよりも、それを描いた大友克洋自身の女性観に興味をそそられそうだ。

このように、大友克洋の描くキャラクターは、若者も女性も子供も老人も、未来社会の人も、別の人種も、別の世代の人も、現実に存在するごく身近な人々と変らない親近感と実在感が感じられる。

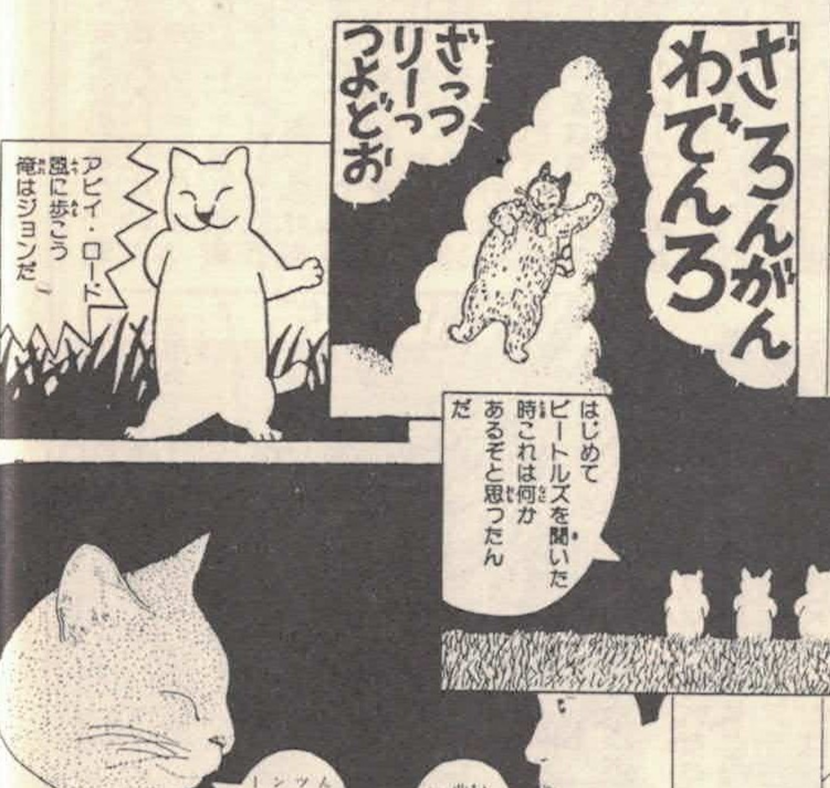
どこにでも存在しそうに思える街角、どこにでも居そうなごく普通の人々、例えそれが宇宙の片すみで生活している未来の人々の物語であろうと、ぼく達が現実に生活するために用いている尺度がそのまま通用する環境で、奇妙な物語が展開していく。それが大友克洋の造り出す世界の魅力だ。







ロックエッセンス
PART.2
THE BEATLES





マンガ家にもビートルズファンは　いっぱいいるのだ。

by 佐野邦彦

ひさしぶりのロックエッセンスですが、今回は、言わずと知れたビートルズ。ビートルズを知らない人なんているわけがないし、プロフィールなんて無用だと思うけど念のため。

62年にデビューし、70年に解散したこの史上最大のグループは、12年たった今でも少しも色あせる事がない。現在日本のビートルズファンクラブ数万人の半分以上が解散した後しか知らない〝ビートルズ体験のない中高生という事を見ても、彼らの音楽が時代や世代を超えたものであるかがわかるだろう。あのレナード・バーンスタインをして、「20世紀最大の音楽家」と言わせしめたその音楽性に加え、20枚のNo.1ヒット、45回のゴールドディスクを得た人気、そしてロングヘアーに代表されるファッション、LOVE&PEACEの思想性、我々の生活すべてにおいてビートルズは先導者であった。

もちろんマンガ家にもビートルズファンはいくらでもいるが、自分の作品の中にまで登場させる人もいる。









まずは萩尾望都。デビュー直後の作品「すてきな魔法」の中にろ曲かくされているが、おもしろいのはジョーイのとなえる呪文、逆に読んでみればわかります。最近も「ビートルズのころ」というイラストストーリーを描いているほどの筋金入りのファン。

新鋭ふくやまけいこも相当なもの。場面や心情にあわせてさりげなく曲名を使うセンスはさすがです。JUNEのカットで「MEET THE BEATLES」にひっかけたのがあったけどあれは最高。

ますむらひろしはガロ時代の作品によく出てくるが、ヒデヨシにも一曲うたわせている。英語をひらがなにするといかにもヒデヨシくさくなるのがいい。

意外なのはクラッシックファンで有名な竹宮恵子。最近「私を月まで連れてって」の中に、次々ビートルズの曲を使っている。彼女もやっと目覚めたのか、アシスタントの趣味なのか、どっちなのかな。（先日お会いした小田部羊一さんも、大のビートルズファンだと言っておられましたヨ）



情報交換コーナー

●探求本。包丁人味平㉒(表紙付)、たがみよしひさ「今年も19」「ざしきわらし」「雪ン子」(ビックコミック?・)田上勝久が載ってるのなら何でも。あすか漫画図書館の川上副館長と田仲さんは異常なまでのロリコン(天下さんもです)ここにくる小中学生の女の子は気をつけませう。
635大和高田市昭和町六ー一五 増井道代
★漫図のマスコットガールことミッチャンだそーでとりみき大好きの17才。

●探求本。「ミヤアちゃん官能写真集」「吾妻ひでおに花束を」「妖精の森」「へろ」「ふるむまかをめら」を高価で買います。
197秋川市二宮七七六ー五 清水武志
★妖精の森はまだ売ってるのでは…

●福山慶子さんのFCを結成しました。全員参加を目標にします。問い合わせは往復はがきで。
189東大和市南街郵便局止 坂田雅章

カット
★水野美加

★ふくやまジックヴックが再版!前回買いのがした人はいそいで☎(03)三九三一〇三四四アニドウへ!

●探求本。横山光輝の付録、冒険王スリラーブック「闇におどる猫」少女クラブ「嵐が丘」少女「月笛星笛」交換用に鉄人28号(31/8)などあります。古い漫画を整理する為目録を作りました御希望の方は200円切手同封で。
544大阪市生野区新今里六ー八ー二一 苅安浩

●当世漫画に対する熱情ある諸氏も多くおられる事でしょうが、ただ漫画だけが心の糧でしょうか。世の中の動き、世界が明らかに変りつつある現在に平和と教育がさけばれている中でどうして漫画だけが流れを反対の方向に行くのでしょうか?漫画をこよなく感じとっている諸氏に御返答を願いたく筆をとったしだいです。
537大阪市東成区深江南三ー一六ー一二三 もっきり屋書店内 松尾昇
☎(06)九八一ー五二〇一

●探求本。少年サンデー78/39・80/15・80/19・26、サンデー増刊79/5〜9、びっと1〜5等買います。「うる星やつら」のセルも探求中。交換本に劇画村塾4号、LaLa77/3等あります。
442豊川市八幡町黒仏二五 杉田浩士

●切抜きのない「アンジェ」を高価にて購入します。
575四条畷市岡山東五ー六ー七 高畑誠

●探求本。クラリスマガジン①②なるべく美品を。高価購入します。
132江戸川区松島四ー九ー一一 山口俊治

●探求本。びにーるぼん、後奈暇、百鬼夜行、無気力プロ発行の本(エピカル等)を原価+送料で譲って下さい。
983仙台市松岡町二〇ー五八 小田中敏夫

●少年ビックコミック79/8〜81/9号お持ちの方お譲り下さい。代金送料負担。先ずご連絡を…。
364北本市宮内一ー八九ー一 渡辺智子

●帽子をとったのは吾妻さんのマンガの為ではなく、火野妖子さんのマンガの為です。でもロリコンはやめにしたので(今度は人妻もの!?)またかぶってみようかな。ハゲるかな?
102千代田区飯田橋二ー一〇ー八秋田書店 ヤングチャンピオン編集部気付 谷口敬

●細野不二彦「クラッシャージョウ」マンガ少年54/4・5・9コピーでも良いから譲って下さい。それから私の作ったサークルにもし良かったら入って下さい。
125葛飾区東金町一ー三六ー四ー七二八 真田暁子

●探求本。漫画の手帖準備号、0号、1、3号なるべく安価で。
336浦和市領家一ー一ー五 山縣岳彦

●探求本。アリス①、シベール、ミャア官、吾妻ひでおに花束を、漫画の手帖0〜3号。コピー可適価にて。
940長岡市西片貝町八八八 長岡工業高校内 堀圭司

●どなたか「ふくやまジックヴック」を譲って。また、譲ってくれる人を紹介して下さい。どうかヨロシク!
981-05宮城県桃生郡矢本町矢本字下浦184 町営下浦住宅二ー八 南條正幸

●探求本。シベール、びにーるぼん等同人誌とSFマガジン79/10増刊、マン少79/4・5・9高価購入。また内山亜紀、吾妻ひでおの本譲ります。
674明石市大久保町西島六九六ー八 森崎和明

●買います。漫画の手帖1〜5、ふくやまジックヴック、アクション増刊スーパーフィクション5。交換用としてだっくす、リュウ、マン少等。
578東大阪市若江南一ー三ー三四 畑中良之

●探求本。シベール、アンジェ、ミャア官、幼女嗜好、フリス。少年No.1①虫コミゆずります。安くお願い。
446安城市東別所町成新畑一ー六七 大島正裕

●売ります。虫コミ、ナガシマくんキャプテンケン①②、S元、ストップにいちゃん④⑤、天馬天兵。
927-21石川県鳳至郡門前町字浦上 二二〇ー一〇〇 新堂敬昭

●探求本。ビックコミックスピリッツ1〜4、9、12、13、16、19、ミャア官、フリス以上よろしくお願いします。
511-11三重県桑名郡長島町大倉一ー三四二 矢野元義



藤本のお兄さん今日は、

お手紙ありがとうございます。それからドラえもんの会長のおじさん、映画の券ありがとう。新宿に行ってママといっしょに見てきました。とてもおもしろかったです。でも、コミケットにいけなくてつまらなかった。21日はママがおはかまいりに行かなければいけませんといったのです。つまらなかった。
それから藤本のお兄さんといっしょにまんがの手ちょうを作ってる佐野のお兄さんにいっときますが、私はりっぱな女の子ですからね（パパにいいつけるから）でもときどきママに、それでも女の子なの、女の子らしくしなさいといわれます。

甘利美峰

美峰ちゃんへ。

いつもとってもかわいいおてがみありがとう。佐野のオジさんにもどっかのオネーさんからお手紙きたみたいだけど、あいかわらず、男性が女の子の字のまねしてるんだとか、いろいろさわいでます。もう無視しましょうね。
ところで、漫画の手帖の読者にもミホちゃんのファンがいっぱいいて、ぜひミホちゃんの写真を漫画の手帖にのせてほしいっていうお手紙がいっぱいきてます。もしよかったらミホちゃんの最近とった

写真を送ってね。

あつい日がつづいてるけど、元気でがんばってね。
ドラエモンの映画の券送ってくれた藤子不二雄ファンクラブの会長の星さんにはよろしくいっときますね。

藤本のお兄さんより。

谷口敬ファンルーム

やったね!・単行本だあ

お待ちかね、谷口センセの単行本が出ました。A5判210ページ650円、ご存知「知恵ちゃんシリーズ」を中心に、大快楽の作品のほか、ほとんどの人が買えなかった自販機本掲載の「ためいき」や描き下しの作品も収録！



えっ?売ってなかった、それはきみんちの近所の本屋さんがボロッチイからだぞ。すぐ、レモン社㉂(03)三五一－〇八五へ問い合わせてみよう。タイトルは「水の戯れ」です。

●探求本。杉浦茂に関するもの、マンガ少年54/4·5·9、漫画の手帖準備号～4号、マンガ奇想天外2号を。
376 桐生市相生町三－二－三〇　住吉昭人

●探求本。跋折羅（ばさら）、「うらしま」永島慎二(サンコミ)、ミャアちゃん官能写真集たかくかいます。
939-16 富山県西砺波郡福光町荒木二八〇　林　俊介

●探求本。ふくやまジックヴックを1500円程で。さべあのまシングルピジヨンを適価で。2冊共絶版なんてひどい。どなたかよろしく。
121 足立区中央本町三－一四－二五－三二　杉本　恭

●漫画の手帖1～3、「ミャアちゃん官能写真集」売って下さい。
747 防府市牟礼三七八三－五高橋方橋本史郎

●「エピカル」「フリス」を探してます。どなたか一冊につき「アンジェ」一冊と交換していただけませんか。
270-11 我孫子市根戸六三六－一三　岩丸久寿

●探求本。ミャア官、キッチンファイター、のんき、フリス、クラリスマガジン、漫画の手帖1～6、んできわめつけっ、ふくやまジックヴックよろしくねー。当方女子ちうがくせえ。なおうちのガッコはセーラー服ではありません。
572 寝屋川市太秦一三七－一四　貝原真紀

●探求本。ミャアちゃん官能写真集月刊ジャンプ77/1増刊、ジャンプ77/9増刊、アクション増刊スーパーフィクション。星野宣之の作品だけでも可。とーとつですがアップルパイはつまらんです。
162 新宿区余丁町一七　玉村　寧

●探求本。ぱふ79/1·7·8·80/5·マンガ少年79/4·5·9·80/5増刊、アクションSF80/12·6 奇想天外SFマンガ大全集Vol3、吾妻ひでおに花束を、ミャア官、シベール、人形姫、アリスVol1 漫画の手帖3号。
617 長岡京市滝ノ町二－七－三　藤井淳司

●細野不二彦さんのFCを結成しました。3ヶ月に一回の会誌、月報等。いずれ公認もとる予定。往復葉書で。
186 国立市中央郵便局止　横山正人

●ジョージ秋山先生のゼニゲバ(若木)美本初版を求む。またCOMを貧乏学生に譲る気のある方。返事待つ!!
683 米子市上福原一四五九－八　横山雄一

●ふくやまジックヴックを適価で譲って…コピーも可。往復はがきで。蛭児神さんのネコ・ロマン、頭がへんになりそーだい！
272-01 市川市宝二－六－二－一－二〇五　篠崎素子

●高橋留美子論集を作ります。原稿を大々的に募集します。締切は年末。
680 鳥取市湖山町北一－672星見方　黒崎毅

●大塚特集がんばって下さい。予告やめますといいつつやるところがすごい…。（千葉県・福山慶子）



少女ポスターのはがし方

望月智充

ポスターはがしのチャンスは一度

別にポスターなんて、少女が出ているものであろうとなかろうと、違いはないと思われるかもしれないが、そこはそれ、ただ「ポスターのはがし方」よりは「少女」がついていた方がロマンがあるというもの。従ってこれから述べるコツを、少女ポスター以外に適用してはいけません。

まず電車の中の網棚や扉の上にずらっとならんでるやつ、有名な興銀のポスター等々車内を彩るあれである。

地下鉄や私鉄で見られる、厚紙の上下をはさんであるもの、(図1)いたずらに外そうとしても紙をボコッと折ったりやぶったりしてしまうだけである。まず座席にあがってポスターの後ろに腕を肘まで入れて、そのまま手前へ引けばよい。(傘でも代用できる。)

図1



矢印のところに腕をつっこむ

厚紙ポスターの欠点は、巻いたり折ったりできないことで、うっかり取るとホームや改札で非常にこまる。大きめの紙袋を持ち歩くか、二枚取って向き合わせに重ねて持ち歩こう。

国電などの、左右の端をアクリル等ではさんであるタイプ、(図2)これは簡単で、両側のそれをペコッと前に引っぱればすぐ取れる。中吊りタイプは説明不用だろう。引っぱればよい。

ただ気になるのは他の乗客の目だが、これは無視するしかない。自分の利用する線の、ガラガラになる駅や時間をみつけることだ。

次にホームや駅通路、地下道などの大判ポスターについて。

画鋲を手でぬいていては大変時間がかかってしまう。そこで私が使っているのは簡単な手製の画鋲抜きである(図3)これは、幅の広いとげ抜きをボキッと二つに折っただけのものだが、財布にも入るので大変重宝している。さて実際にはがす場合の注意だが、画鋲は必ず下から外していくこと。上からやると途中でポスターが垂れ下ってきて往生する。

それからゴムは、もとい、輪ゴムはいつも持ち歩くこと。

抜いた画鋲を下に落さないというのも守るべきルールであろう。だって、ね、女の子が踏んで怪我でもしたら大変でしょ?

ということで、ちょっとしたコツをいくつか述べてきたが、それより大切な事は「ポスターはがしのチャンスは一度!」ということである。チャンスと思ったそのときに実行しないと、まず二度と好機は訪れないものと銘記したい。

ところでなぜ我々はポスターを盗むのか。犯罪ではないかーなどと野暮を言ってはいけない。沢山盗まれるということは人気を示すバロメーターであり、ポスター製作者冥利に尽きることでもあるのだ。少女ポスターに人気があるとなれば各スポンサーだって目をつけない筈がない。かくして街は少女ポスターの花盛り!!

図2



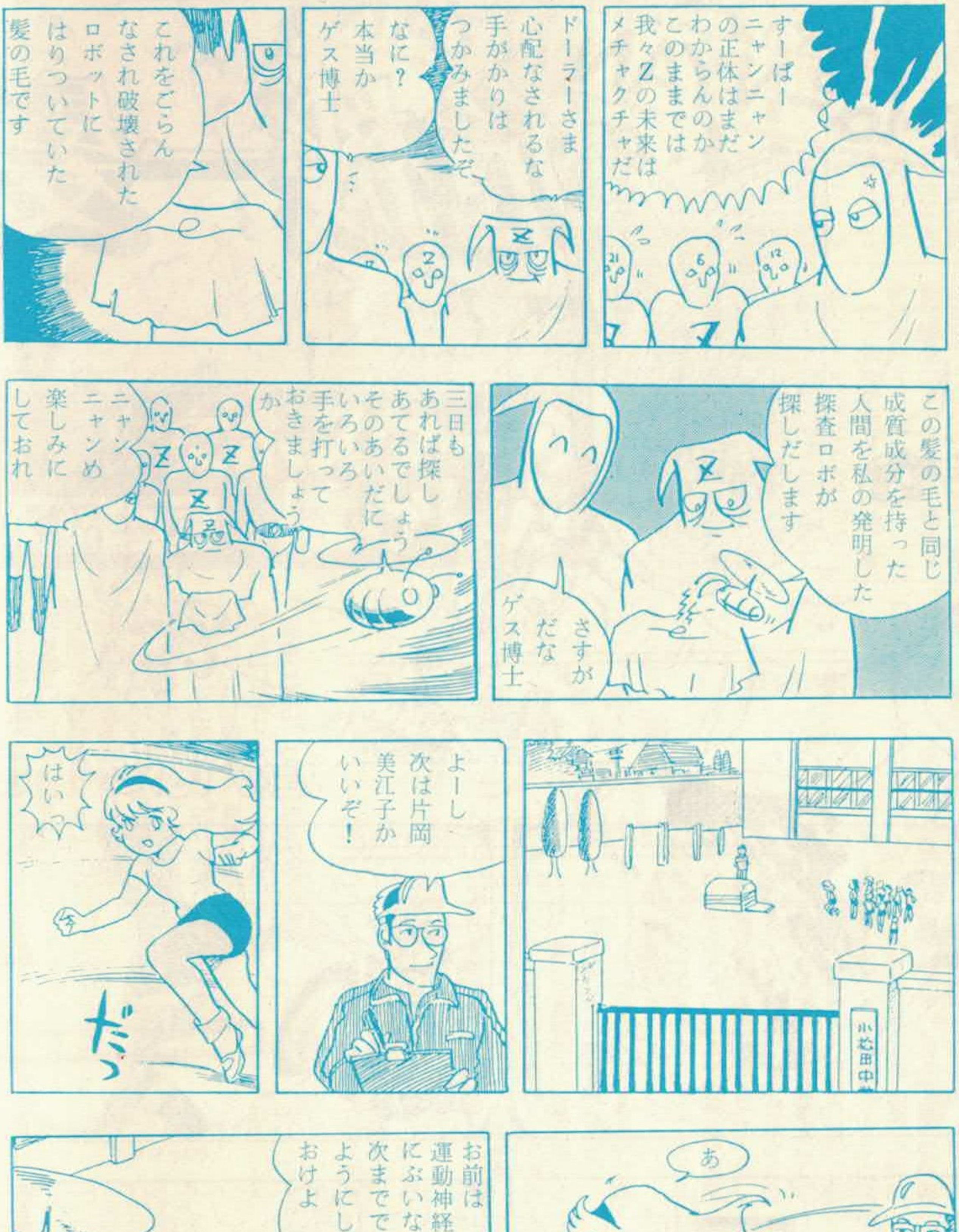
留め具をひっぱり出す

図3



かんたんな画鋲抜きとその使用法

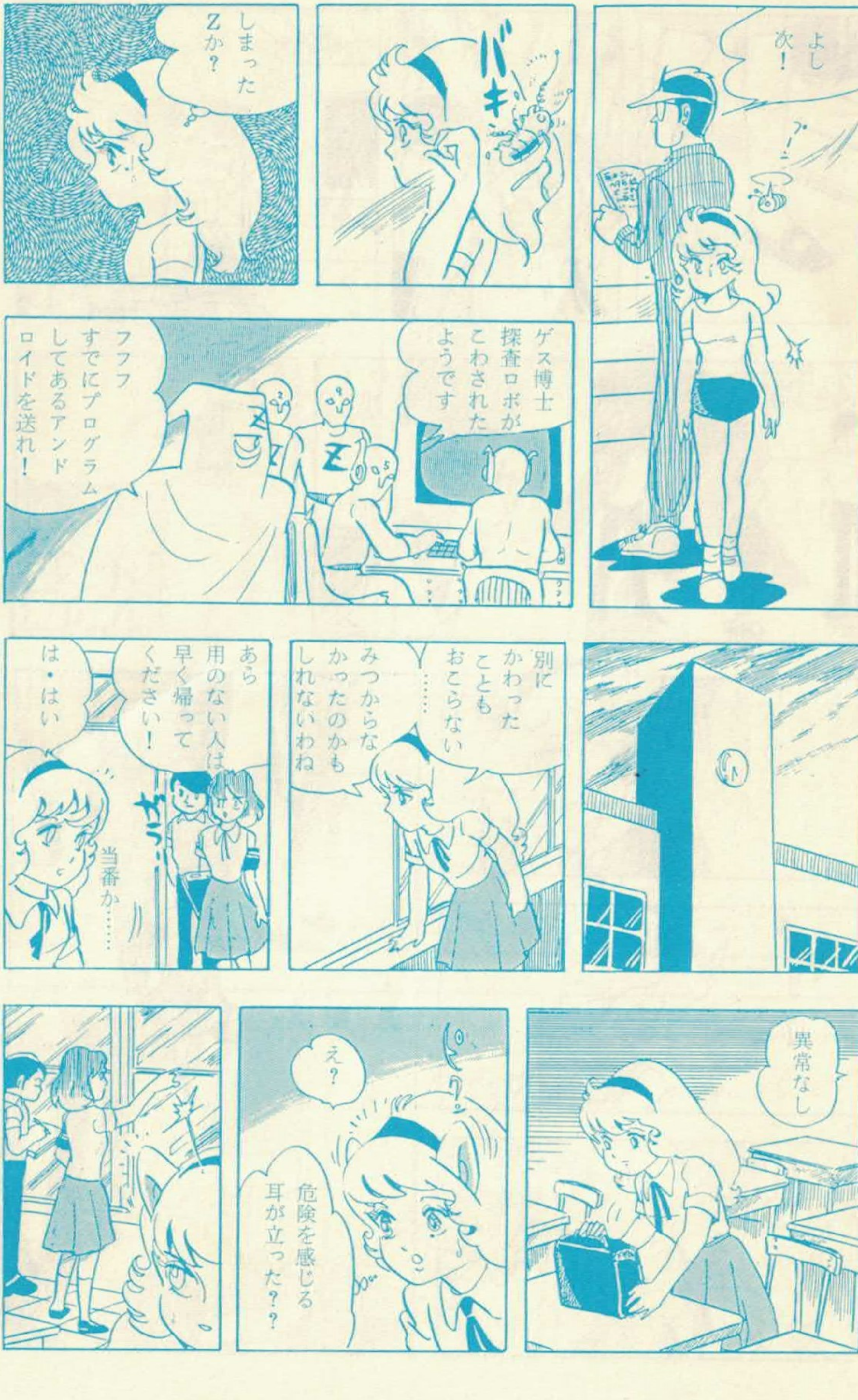

すーぱーNYAN NYAN
ニャン ニャン
危機一髪
たかはしちこ
★正義のみかたスーパー・ニャンニャンの大活躍！
戦闘ロボ・ザマンナイ 修理不可能的破壊
無敵戦艦ジョーズ あっさり轟沈
第三秘密基地 あとかたもないほど…
ドン
もう やめろ!!
うぬ ぬ……

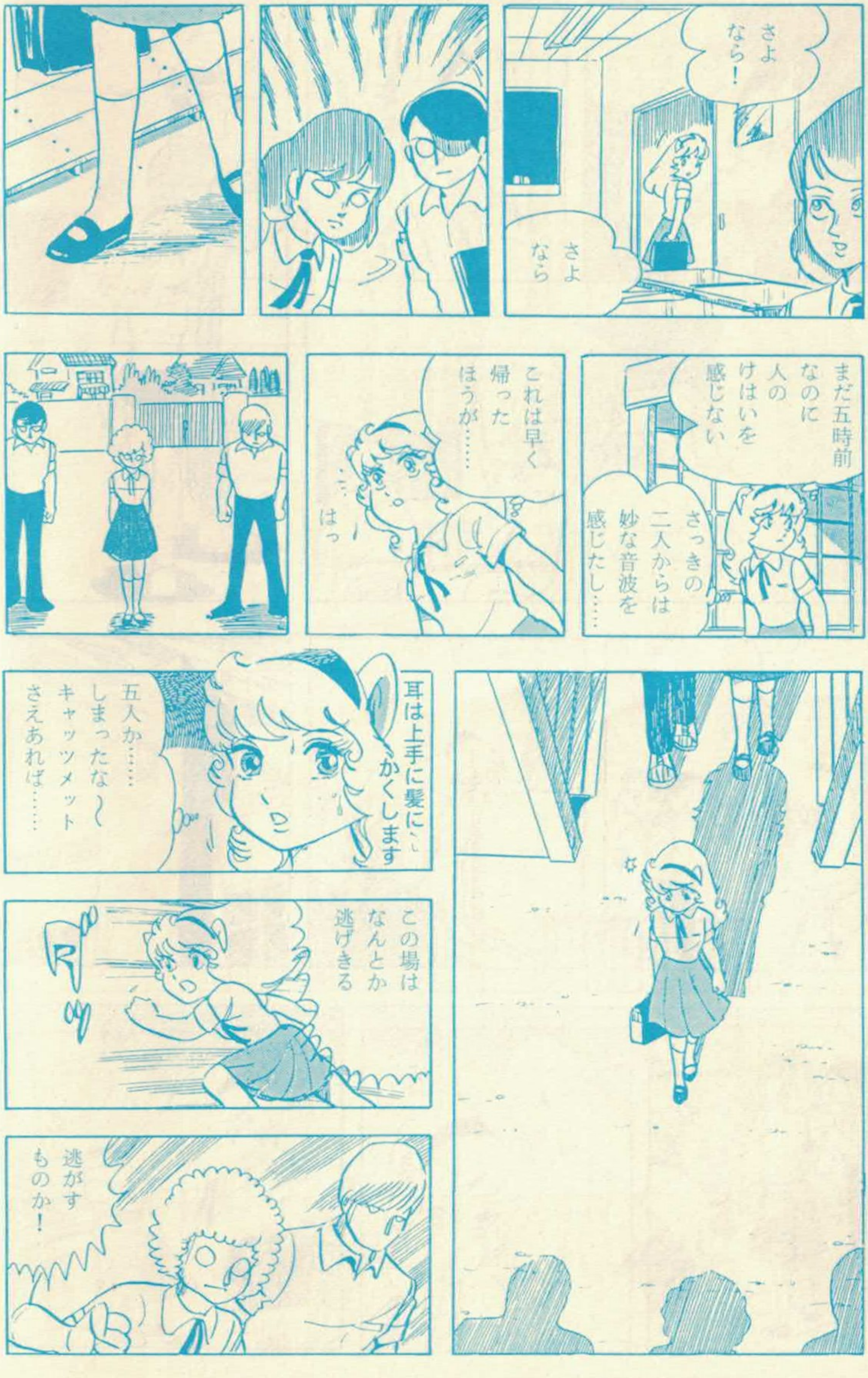


★たかはしちこ先生へのおたよりは、東京都杉並区上荻2の27の18 藤本方 漫画の手帖事務局までお送りください！

漫画の手帖の入手方法は

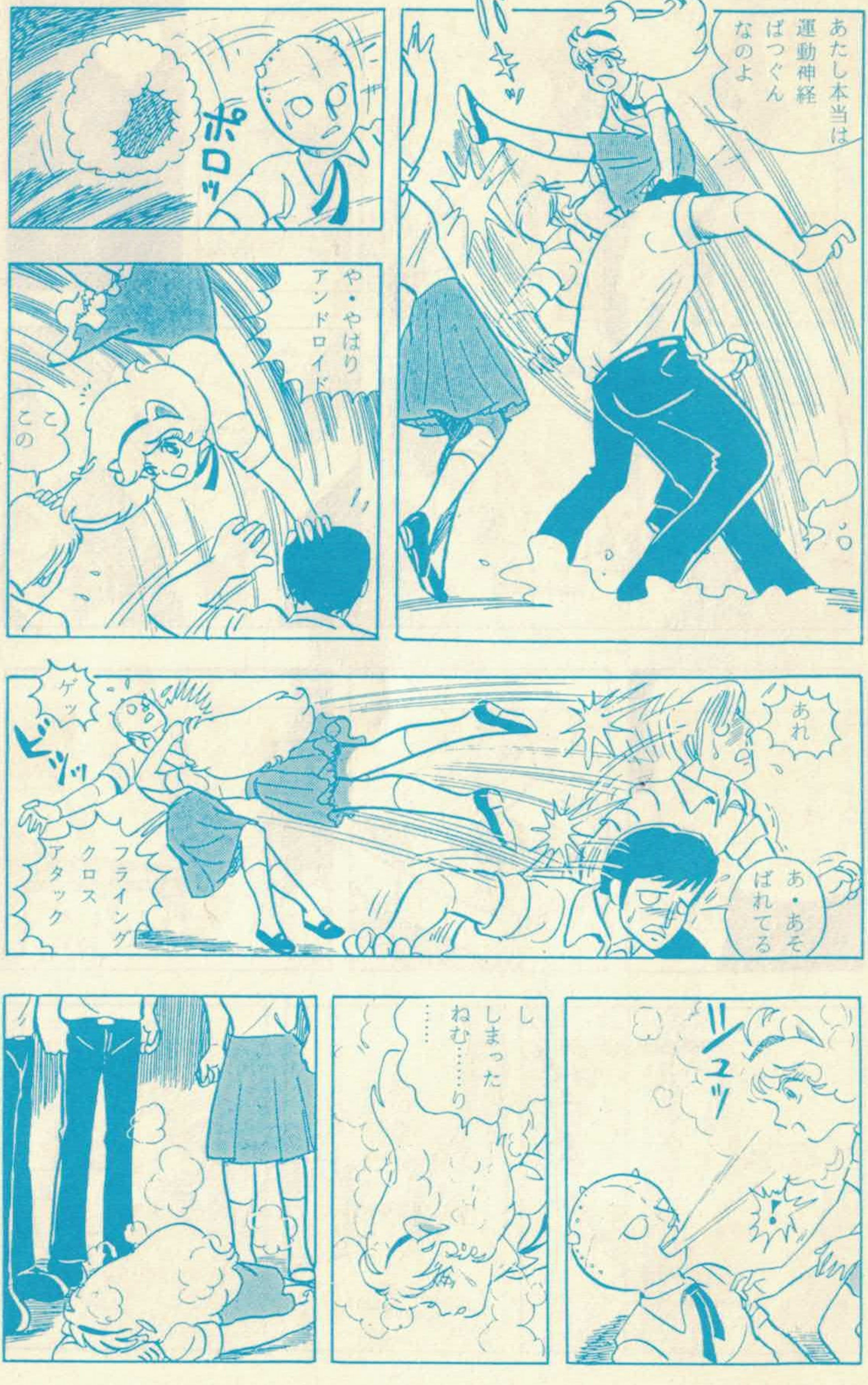
3回分の購読料五〇〇円を事務局あてに、次の方法でご送金ください。①郵便局で五〇〇円の小為替（こがわせ）を買って郵送する。②郵便局で振替用紙をもらって〈東京7-69599・漫画の手帖事務局〉と記入して窓口に五〇〇円はらいこむ。③現金で五〇〇円送る。（五〇〇円札を普通の封筒に入れて送る時は郵便屋さんにばれないよーにしてね）何号から欲しいのか必ず書いて、167東京都杉並区上荻二-三七-八 藤本方漫画の手帖事務局へ。





アンケートのお願い

今までの漫画の手帖を読んで、おもしろかった記事・特集・マンガは何ですか？ 今後、やって欲しい企画・特集とりあげて欲しい作家、その他ご意見・ご希望など何でも書いて、はがきで11月30日までに、167東京都杉並区上荻二―二七―八 藤本方 漫画の手帖事務局あてお送り下さい。抽選でなんと20名の方に賞品が当るのです。（当選発表は11号誌上で）でもマジメに書いてくんないと当らないんだから！ えー、賞品は↖



↖アンケートの賞品は、Ⓐファントーシュ森康二特集号(1名様)Ⓑ高橋留美子クギとトンカチポスター(1名様)Ⓒアンジェ(3名様)Ⓓつげ義春の豆本「ねこ町紀行」(1名様)Ⓔさえぐさじゅん作品集「100年目の雨の森から…」サイン入!(4名様)Ⓕたかはしちこ「ミーコとあそぼうNYAN-NYAN-NYAN」(10名様) 欲しい品を必ず一つだけ書いて送って下さい。



★東京の加瀬毅さん、郵便物が転居先不明でもどってきてます。新しい住所教えて。★情報交換コーナーに「譲ります。ロボコン①、弾丸トミー再録コピー…」出して下さった方、住所とお名前書いてないのです。も一度お手紙を。★埼玉の小林克実さんへ「ラセーヌの星」全完等を送った方、住所わすれてお礼ができないとの事。至急連絡してあげて。★鶴岡秋資さん大塚特集の資料協力ありがとう。★伊東愛子先生単行本とカッパのお面どーも。家宝にします。

おわびとてーせー

8号の、よいこのうわさでYOUで萩尾さんの連載ー と書きましたが、萩尾さんからイラストだけです。とのご注意をいただきました。ごめんなさい。それから古い話して申し訳ないけど、3号の高橋留美子同人誌作品リストで、「けもの24時間」と「腹はらホール」の位置が、逆になっている事が今頃になって判明いたしました。どーもすんません。8号の松田書店さんの電話番号がまちがってました。正しくは(0三九)七三ー三一八です。



★襲いかかる怪光線…… 危うし！スーパー・ニャンニャン



「漫画の手帖」10号（11月発行）につづく

千坊ナイフ



★日本の恵まれない子供達にはミンキーモモを!! 冬のコミケで待っててね★

葉介マイラブ





高橋葉介さんの「夢幻紳士」が再開されました。うれしいうれしい

マンガ少年の連載は休刊のため、たった4回で終ってしまったけれど、これはヨースケさんらしい密度の高い作品でした。

時代はたぶん昭和初期、和洋折衷の奇妙なアンバランスさの中で起こる猟奇事件を、謎の探偵夢幻魔実也が解きあかしていくストーリーなんですが、とにかく雰囲気がいい。

墨を流したような低くたれこめた空、巨大な月、古色蒼然とした街の看板など異様さがたちこめる背景に、神秘的な登場人物が融合してただならぬ雰囲気がありました。

僕としては特に最終回の「夢幻少女」が好きですね。十五の時から眠り続け、老衰で冥府へ去って行くまで他の人を呼び続けた彼女に、そっと口づけをした魔実也。

あまりにも悲しいストーリーに手塚治虫の「ガラスの脳」を思いうかべたのは僕だけでしょうか。

ヨースケさんにお聞きしたところ、十話分ほどストーリーはできていたとの事。どこかで続きが読めないものかと思っていた矢先の再開はうれしいです。

ふくやまけいこさんも熱烈なファンらしく「まみやさん、どーして途中で終ってしまったの」と、残念がっておられました。

（という訳で、左のカット）

リュウ編集部さん、なんとか連載にならないものでしょうかね。

by　くにひこ



イラスト★ふくやまけいこ

漫画の手帖　9号　一九八二年九月一五日発行

企画編集　三軒茶屋プリザベーションソサエティ　編集人　佐野邦彦　発行人　藤本孝人

スタッフ　泰忠義・荒金正明・岩本保雄・小俣誠・川脇康生・佐々良平・富田泰彦

発行所　漫画の手帖事務局　東京都杉並区上荻二―二七―一八　藤本孝人方

協　力　現代マンガ図書館　印刷所　株式会社ナール出版印刷

１５０円